

2020年12月2日

新型コロナウイルス感染症拡大が及ぼした がん患者への影響調査の結果について ～がん患者の8人に1人が受療内容を変更～

アフラック生命保険株式会社（代表取締役社長：古出 眞敏）は、この度、一般社団法人CSR プロジェクト（代表理事：桜井なおみ）による「新型コロナウイルス感染症拡大が及ぼしたがん患者への影響調査」に協賛し、調査結果が以下のとおりまとまりましたのでお知らせします。なお、調査結果の詳細は別紙をご参照ください。

新型コロナウイルス感染症拡大が及ぼしたがん患者への影響調査の結果について

1. 調査概要

名称) 新型コロナウイルス感染症拡大が及ぼしたがん患者への影響調査
対象) 診断時に収入を伴う仕事をしていた、診断から5年以内のがん患者 310人
※男女比は男性 65.5%（平均年齢 60.7歳）、女性 34.5%（50.4歳）
※平均年収 400万円以上、400万円未満の2つのグループに分けて収集を行った
時期) 2020年10月12日～13日
方法) WEB調査

2. 結果概要

新型コロナウイルス感染症拡大が、がん患者の治療および生活に及ぼした影響について、以下の5つのポイントが明らかとなりました。

■ ポイント1：がん患者の8人に1人が受療内容を変更

- ・ 患者の8人に1人が実施中の受療内容を変更しており、とくに薬物療法など何らかの治療を受けているグループでは4人に1人の患者が受療内容を変更している。
- ・ 外来や検査のキャンセル、治療の延期などの受療内容の変更により、がんの進行（重症化）などが懸念される。

■ ポイント2：受療内容の変更の半分ががん患者自身の判断による変更

- ・ 受療内容の変更の半分が患者自身による判断であり、その根拠となる情報源はテレビやラジオ、インターネットなどが多く、医療機関や学会などがんに関する「確かな情報源」へのアクセスが低い。

■ ポイント3：緊急事態宣言期間中も非正規雇用の働き方は変わらず

- ・ 緊急事態宣言期間中、患者の全体における約3割がテレワークなどに働き方を変更していたが、その大半が正規雇用であり、非正規雇用の患者では働き方の変更が行われておらず、雇用格差が大きい。

■ ポイント 4：自営業や非正規雇用のがん患者を中心に就業時間や収入が減少

- ・ 緊急事態宣言の前後で比較した場合、就業時間や収入が減少したと回答した患者は全体の2割弱。
- ・ うち、自営業、民間企業従業員、非正規雇用が各々2～3割を占めており、とくに正規雇用より非正規雇用の患者に収入減少が多く発生している。
- ・ 回答した女性患者の4割が非正規雇用であることから、乳がんなど女性特有のがん治療においては、経済的理由による受療内容の変更が懸念される。

■ ポイント 5：がん患者の約7割が感染等への不安を感じている

- ・ 患者の全体における約7割が自分や家族の感染への不安、外出や人と会うことへの不安のほか、体調の変化や重症化、治療継続への不安を感じており、精神的支援も必要である。

本結果について、国立がん研究センター・がん対策情報センターの若尾文彦センター長から、以下のとおりコメントを頂きました。

新型コロナウイルス感染症の重症化リスクが高いとされているがん患者の行動・考え方などを確認できる貴重な調査です。まず、着目するのは、治療内容・スケジュールの変更の判断者では、医療者（58%）に次いで、自己判断（38%）が多いことです。その理由は、「院内感染への不安」が3/4以上を占めていますが、不安を感じた際には、自己判断をしないで、まず、医療者に相談することが重要と考えます。また、予防対策についての情報源では、玉石混濁であるテレビ・ラジオ（82%）、インターネット（51%）、新聞・雑誌（38%）、ロコミ（16%）、SNS（13%）の利用者が多いですが、信頼できる情報を発信している公的機関（46%）や医学系学会のサイト（3.9%）等へのアクセスが低い状況を改善する必要があると考えます。利用者が、情報源の特長を理解して、全体の状況は公的サイト、がん患者の一般的注意などは学会サイト、自分の治療に関する情報は医療機関に電話で確認するという基本的な考えを元に行動することが望ましいと考えます。

当社は「生きる」を創るリーディングカンパニーへの飛躍を目指し、これからもすべてのステークホルダーから信頼される会社であり続けるとともに、がんに関わる社会的課題の解決に取り組んでいきます。

新型コロナウイルス感染症拡大が及ぼした
がん患者への影響調査
結果報告書

2020年12月2日プレスリリース

一般社団法人CSRプロジェクト



協賛：アフラック

目次

■ 調査概要とみえてきた課題	3
■ 回答者プロフィール	10
■ 本調査結果	14



調査概要とみえてきた課題

調査結果の目的など概要

1. 目的

新型コロナウイルス感染症拡大は、私たちの生活、働き方へ大きな変化を及ぼしている。また、医療面においては院内感染、オーバーシュートに係る外来閉鎖や受療制限など憂慮すべき状況となっている。未知の感染症という、私たち現代人が経験したことのない今回の課題は、社会、精神、身体へと大きな影響を及ぼしており、ワクチンを含めた治療方法が確立するまでの間、今後、数年にわたり収束と拡大を繰り返すことが想定されている。

そこで当団体では、新型コロナウイルス感染症拡大が、がん患者の治療、並びに生活に及ぼした影響について、①非常事態宣言の解除前と解除後、さらには、②新年度を迎え状況が変化しあとの（2022年）2地点において調査を実施、その動向や意識の変化を把握する。

2. 調査対象

- ・ 診断時に収入を伴う仕事をしていた、診断から5年以内のがん患者310人
- ・ 平均年収400万円以上、400万円未満の2つのグループに分けて収集を行った。

3. 調査時期

- ・ 第一回：2020年10月12日～13日、第二回：2021年（予定）
- ・ 調査方法：疾患パネルを用いたweb調査
- ・ 調査主体：一般社団法人CSRプロジェクト、・ 協賛：アフラック生命保険株式会社

4. 主な調査内容

- 診療状況の変化
- 情報の入手先
- 就労状況、時間、収入の変化

5. 回答者の特性

- ・男女比は男性65.5%（平均年齢60.7歳）、女性34.5%（50.4歳）、平均年齢は57.1歳。未婚33.5%、既婚66.5%
- ・居住地は関東地方32.9%、中部地方19.0%、近畿地方17.7%、九州地方9.0%、東北地方6.5%、四国地方5.8%など。
- ・罹患部位は大腸22.3%、乳房13.2%、前立腺12.6%、子宮・卵巣9.0%、胃8.1%、肺6.1%、肝胆膵5.5%、その他（甲状腺・膀胱・精巣など）。病期は0期（20.0%）、1期（32.9%）、2期（17.7%）、3期（11.9%）、4期（5.8%）。
- ・治療状況は、経過観察中（58.7%）、無治療（16.1%）、手術に向けた検査中（2.6%）、抗がん剤治療中（8.4%）、放射線治療中（2.3%）、ホルモン療法中（10.6%）。

6. 結果の総括

- がん患者の8人に1人が受療内容を変更し、薬物療法など何らかの治療を受けている群では4人に1人が受療内容を変更している。変更した人の中には自己判断で受療を変更した患者もあり、重症化などが懸念される。
- 自己判断で受療内容を変更した人の主な情報源はテレビやラジオ、インターネットなどが多く、医療機関や学会など確かな情報源へのアクセスが低いのが特徴的。疾患を有した患者に対しては確かな情報へのアクセス動線をつなぐことが大切である。
- 緊急事態宣言期間中は、約3割が一部、あるいは全面テレワークへ切り替えているが、これらは正規雇用が中心で、非正規雇用においては働き方の変更が行われていないことに加えて休業なども生じており、格差が生じている。
- 自営業、民間企業、非正規雇用を中心に就業時間や収入の減少が2～3割ほど認められている。内閣府「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会」の提言にあるように、女性就業者数が多い産業、雇用形態等が受けた打撃は極めて大きいと推測され、今後、乳がんなど女性に多いがん種での経済的な困窮を背景とした受療行動への影響が懸念される。
- がん患者の約7割が、自分や家族の感染への不安、外出や人と会うことへの不安に加え、体調の変化や重症化、治療継続への不安を感じており、心理的支援も必要である

【提言】

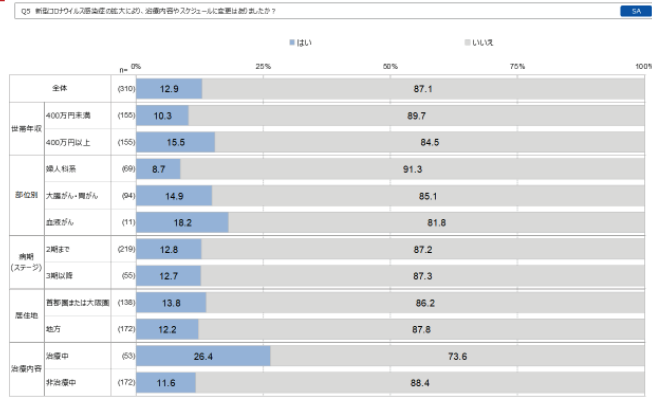
- 科学的根拠が確かな情報源、情報間に対する患者への情報伝達の動線づくり
- 非正規雇用や自営業、民間企業就労者など、感染対策の強化と感染症拡大の影響により社会経済活動で影響をうける方への経済的支援の継続、拡充、制度利用の促進
- 新型コロナウイルス感染症、並びに、リスクに対する正しい知識の普及と対策の強化

調査結果からみえるがん患者像①

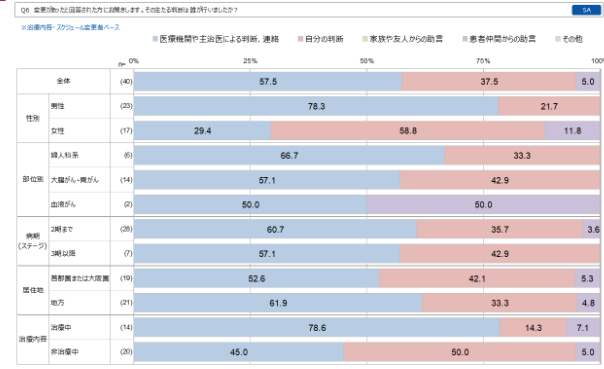
●がん患者の12.9%が治療計画を変更している。特に治療群では26.4%と高い。変更の理由は、主に院内感染への不安や通院途中での感染不安となっている。しかしながら、治療群の14.3%、非治療群の50.0%が自己判断で治療を変更しており、情報の非対称性は新型コロナウイルス感染症拡大においても生じている。

- ・新型コロナウイルス感染症拡大によって、治療内容やスケジュールに変更があった患者は12.9%。抗がん剤治療や放射線治療、ホルモン治療など、治療中患者への影響は大きく治療群では26.4%（非治療群では11.6%）と高い。変更内容は、外来や検査のキャンセル、延期がともに19件。点滴治療薬が内服に変更、薬物療法（点滴）のキャンセルや延期など。
- ・変更の判断者は、医療機関57.5%、自己判断37.5%となっている。男性の78.3%は医療機関の判断だが、女性の58.8%は自己判断となっている。治療群の78.6%、非治療群の45.0%が医療機関からの指示で変更となる一方で、治療群の21.4%、非治療群の50.0%が自己判断で変更しており課題である。
- ・自己判断で変更した理由は、院内感染の不安76.5%、通院途中の感染、自分が感染したなど。特に非治療群の90.9%が院内感染の不安を挙げている。

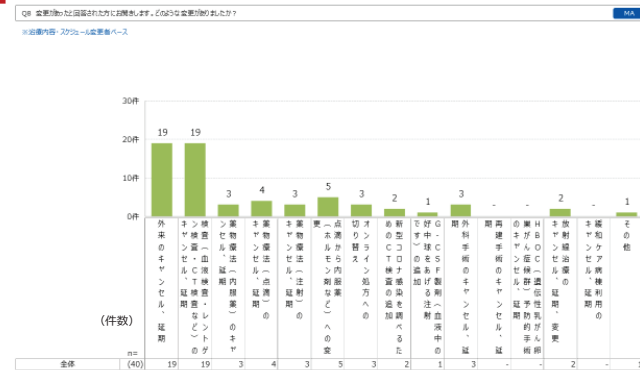
5 新型コロナウイルス感染症拡大による治療内容やスケジュールの変更



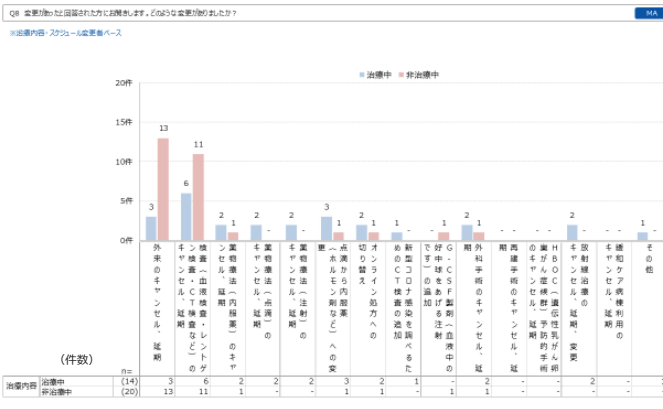
6 変更をした主判断者



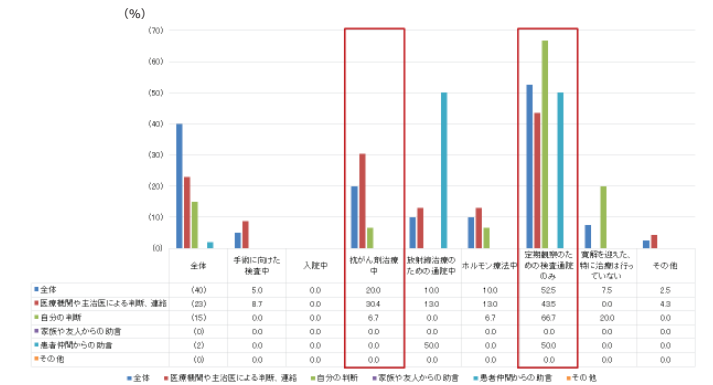
8-① 変更内容【全体】



8-② 変更内容【治療内容】



8-③ 変更内容【治療内容】%表示

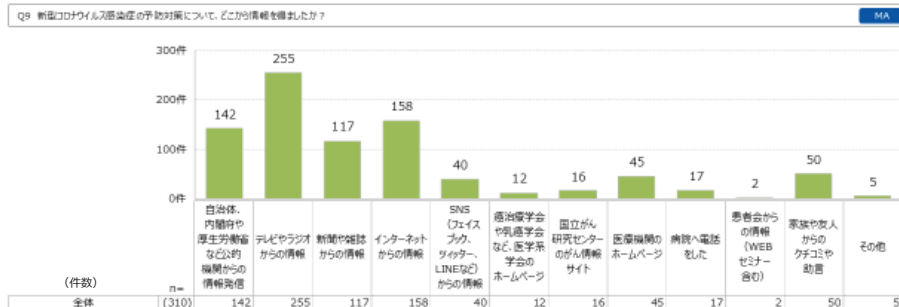


調査結果からみえるがん患者像②

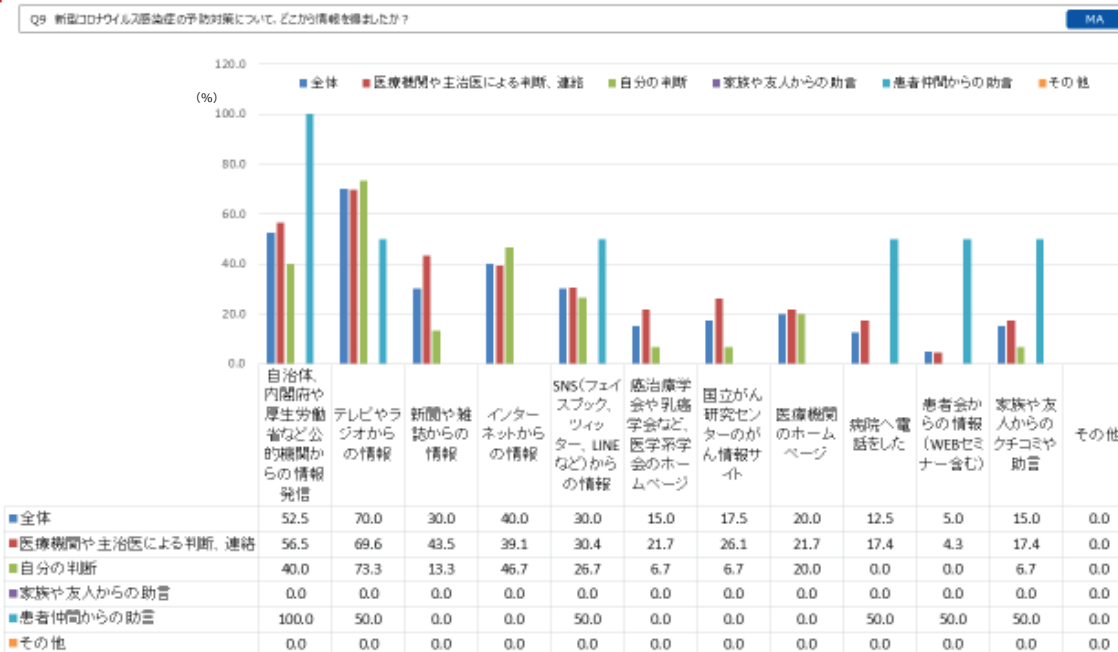
●新型コロナウイルス感染症に係る情報源は、テレビやラジオが主である。ほかインターネットや自治体・内閣府などの情報。学会や医療機関、国立がん研究センターはほとんど閲覧されていない。自己判断で治療を中止した人は様々な情報源へのアクセスを行っており、災害、あるいは感染症などの緊急性が高いケースでは、情報提供の一元化が重要と考えられる。

- ・新型コロナウイルス感染症拡大に係る情報入手源の第一位はテレビやラジオ、第二位がインターネット、第三位が自治体・内閣府など公的機関の情報となっている。学会や医療機関、国立がん研究センターの利用は少なく、今後の課題と考えられる。
- ・自己判断で治療を変更した人の情報源は、公的機関・医療機関などへのアクセスが少ないのが特徴。テレビやラジオ、インターネットSNSなどに振り回されている。また、地域間での差はあまり生じていない。

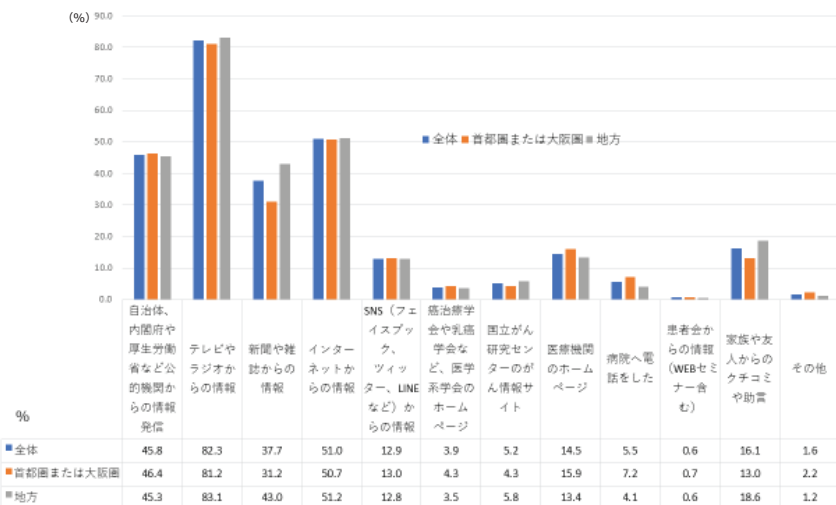
9-① 新型コロナウイルス感染症拡大の予防対策についての情報源【全体】



9-④ 新型コロナウイルス感染症拡大の予防対策についての情報源【全体】%



9-③ 新型コロナウイルス感染症拡大の予防対策についての情報源【地域別】

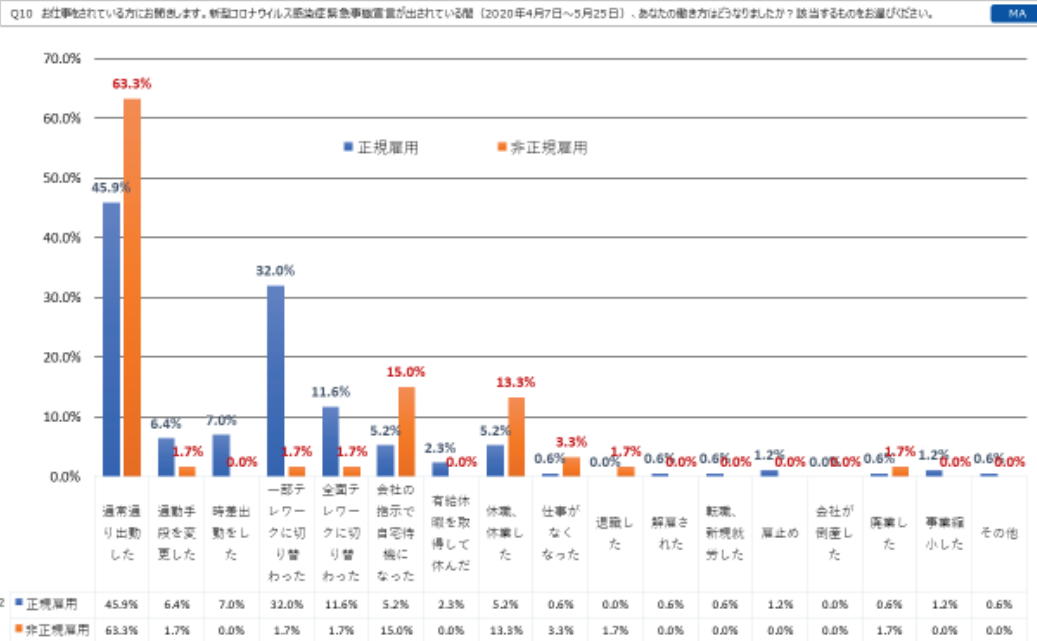


調査結果からみえるがん患者像③

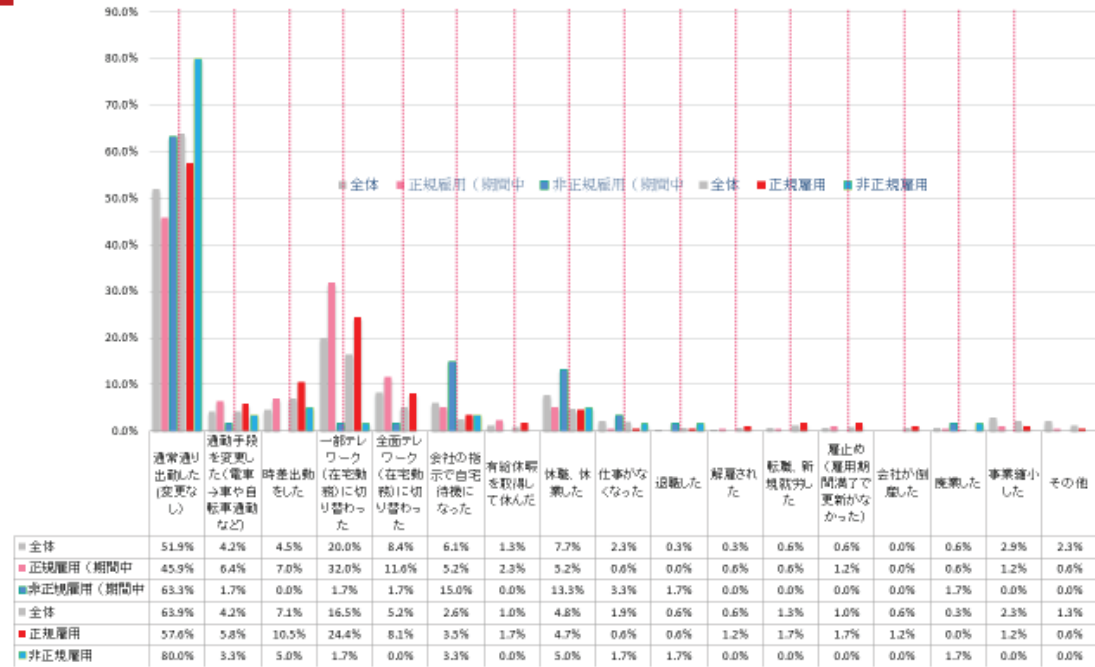
●緊急事態宣言の発令期間中は、約5割の人が普段通りの勤務を続けていたが、2割程度が一部をテレワークへ切り替え、1割が全面テレワークに切り替わっている。また、解除後もテレワークについては定着しつつあることが推測できる。しかしながら、こうした対応ができたのは正規社員が主であり、非正規雇用ではテレワークへの切り替え率などが著しく低い。雇用形態の違いは新型コロナウイルス感染症拡大の対応においても差が生じている。

- ・緊急事態宣言前・後の働き方の変化は、通常通り出勤は63%、一部在宅勤務16.5%、時差出勤をした7.1%となっている。全体の1割程度は休業、仕事がなくなった、解雇、退職、雇い止めなどに遭遇している。また、解除後も同程度で継続していることがわかる。
- ・これを雇用形態別で見ると、非正規雇用は、非常事態宣言中なども通常通り出勤した割合が高く、中には休職や休業、仕事が無くなったなど、就労に関して大きな影響を受けていることがわかる。特にテレワーク利用率は正規雇用と大きな差がある。

10-③ 緊急事態宣言中の働き方【働き方】%比較



10-④ 緊急事態宣言解除前後の働き方の変化（正規雇用・非正規雇用）



調査結果からみえるがん患者像④

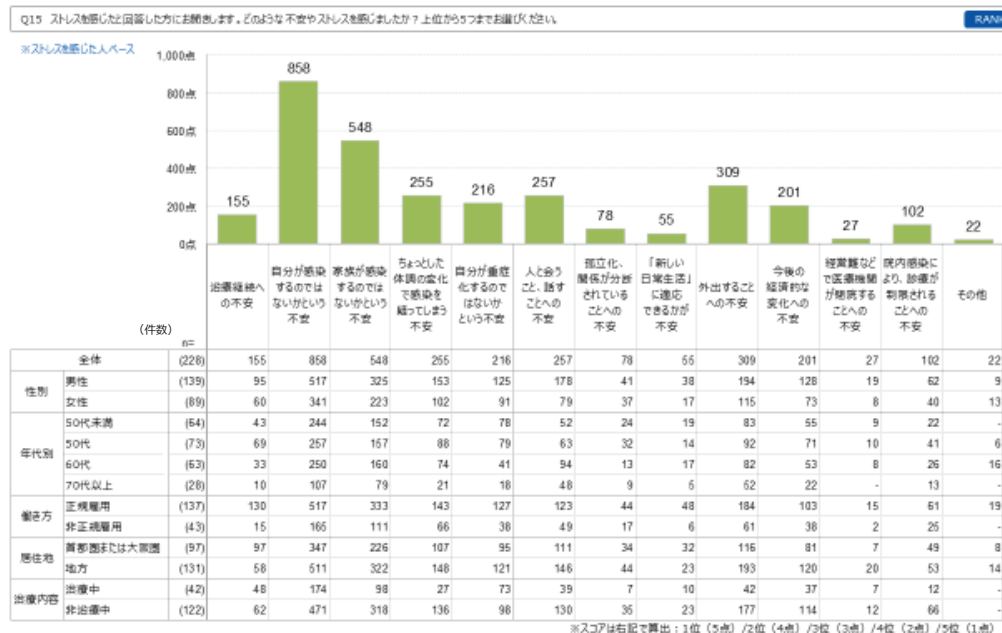
●不安度と不安の理由

- ・就労時間の変化は、81.6%が変わらないとする一方で減った人が15.8%。月収は80.0%が変化なし、19.0%が減ったと回答している。これも職種での違いが大きく、労働時間については、自営業24.5%減、民間企業の従業員34.7%減、非正規雇用（パート・派遣社員・アルバイト）26.5%減。収入については、自営業が33.9%減、民間企業の従業員28.8%減、非正規雇用が23.7%減と、自営業、民間企業の従業員、パート・アルバイト・派遣社員など非正規雇用の患者に大きな影響を及ぼしていることがわかる。
- ・緊急事態宣言が出されている間は73.5%が「とても強く感じた・やや感じた」、16.5%が「あまり感じない・全く感じない」と回答。その理由は、第一位が「自分が感染するのではないか」、次いで「家族が感染するのではないか」、「外出すること」、「人と会うこと」、「体調の変化」となっている。
- ・新型コロナウイルス感染症が、実際の感染リスクよりも高く捉えられている傾向がよくわかる。正しい情報発信が重要である。

12-13 緊急事態宣言前後の月収・就労時間の変化

		%									
		全体	自営業	経営者・役員 民間企業 の従業員	公務員	パート・派 遣社員・ア ルバイト	専業主婦・学 生	無職	その他		
Q12 新型コロナウイルス感染症緊急 事態宣言が解除された後（2020年5 月26日以降のあなたの働く時間は、 緊急事態宣言が出される前から増え ましたか？減りましたか？ ※緊急事態宣言が出される前を 「100%」としてお答えください。	変わらない	(253)	16.2	7.1	39.1	5.5	26.5	0.0	0.0	0.0	5.5
	減った	(49)	24.5	4.1	34.7	0.0	26.5	0.0	0.0	0.0	10.2
	増えた	(5)	0.0	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	その他	(3)	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
Q13 新型コロナウイルス感染症緊急 事態宣言の前（2020年5月26 日以降）、あなたの月収に変化はあり ましたか？ ※緊急事態宣言が出される前を 「100%」としてお答えください。	変わらない	(248)	13.3	7.7	41.1	5.6	26.6	0.0	0.0	0.0	5.6
	減った	(59)	33.9	1.7	28.8	0.0	23.7	0.0	0.0	0.0	11.9
	増えた	(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	(1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

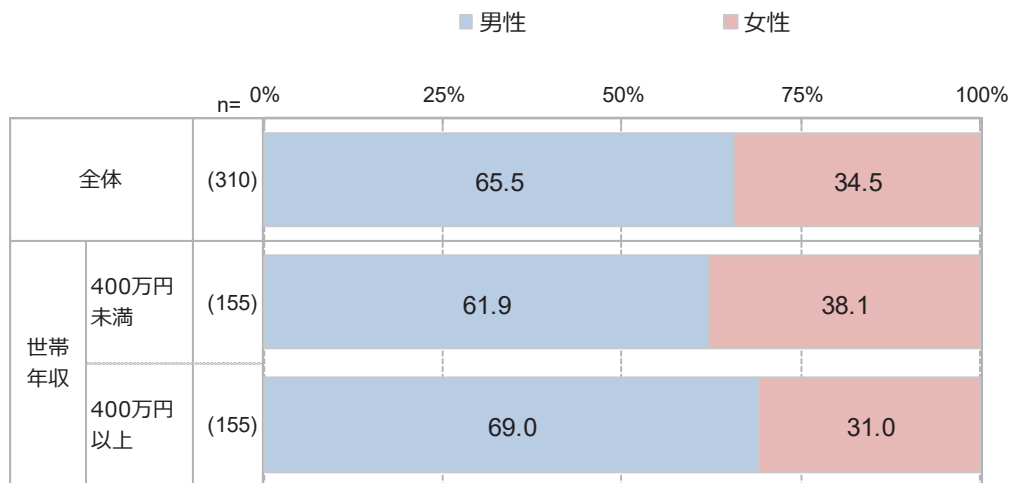
15 不安に感じたこと



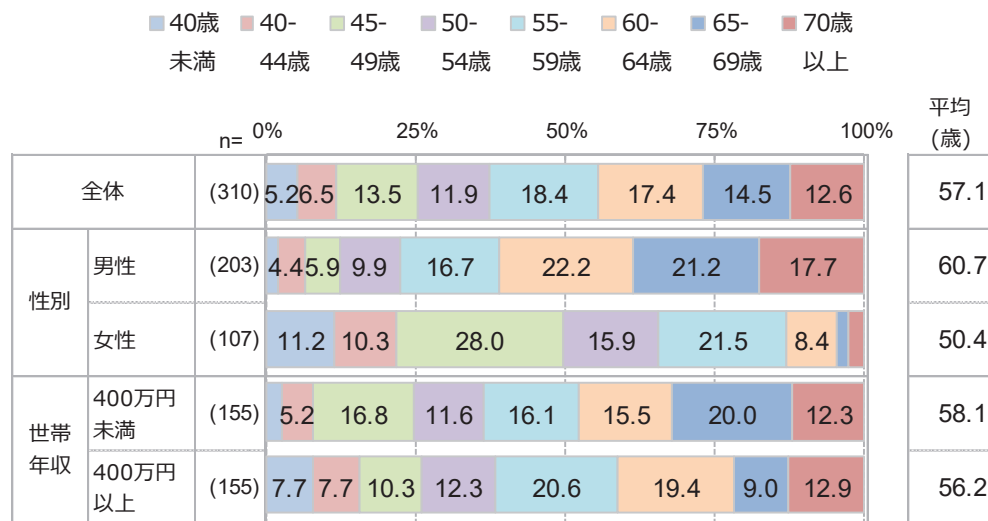
回答者プロフィール

回答者プロフィール n=310

性別



年齢



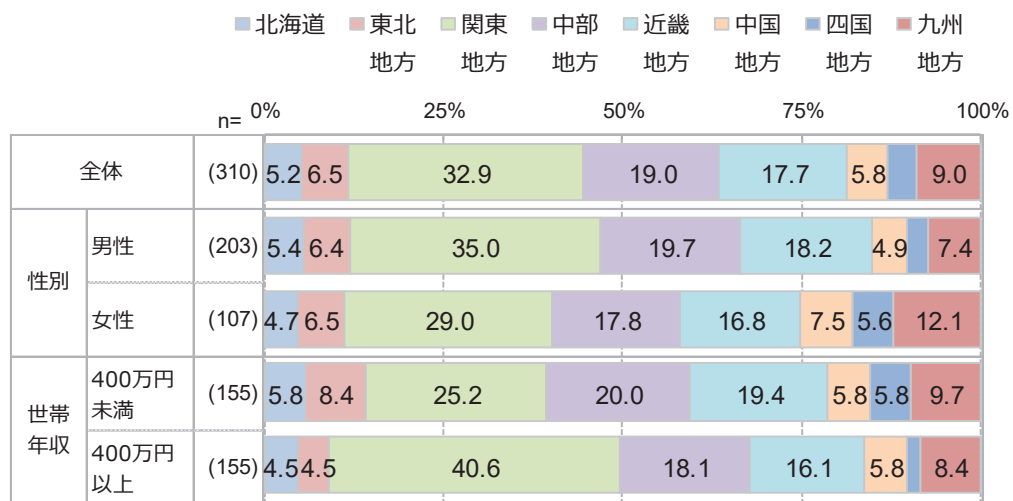
※4%未満のスコアは非表示

都道府県



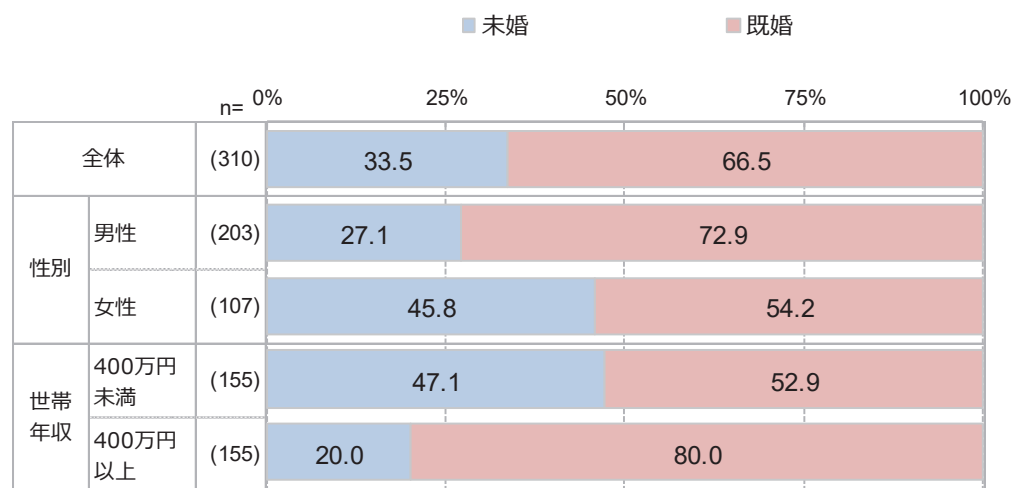
回答者プロフィール n=310

居住地域

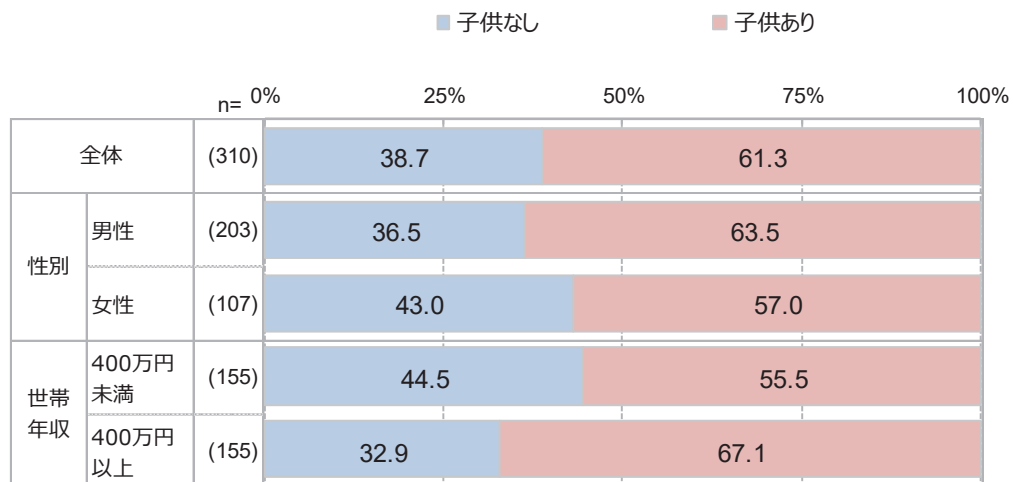


※4%未満のスコアは非表示

未既婚

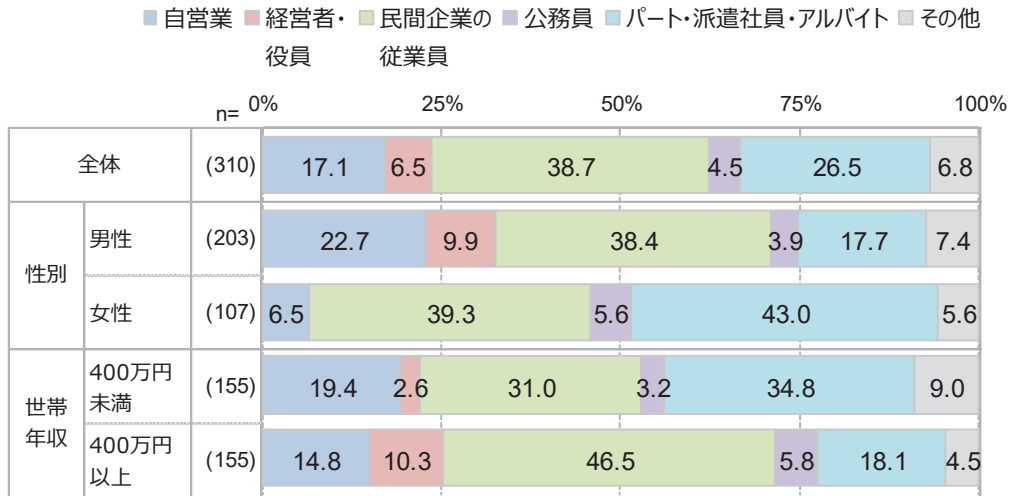


子供の有無

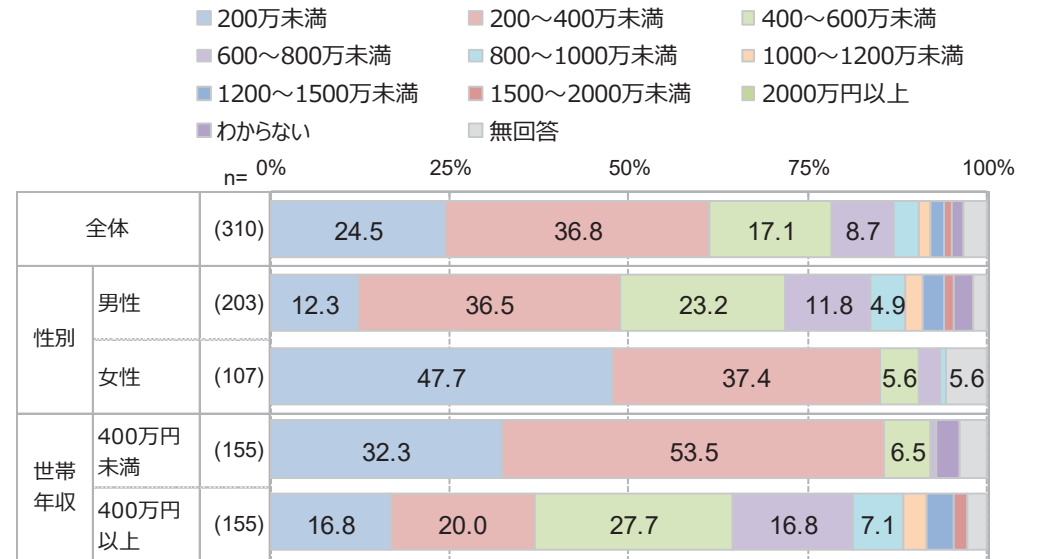


回答者プロフィール n=310

職業



個人年収



※4%未満のスコアは非表示

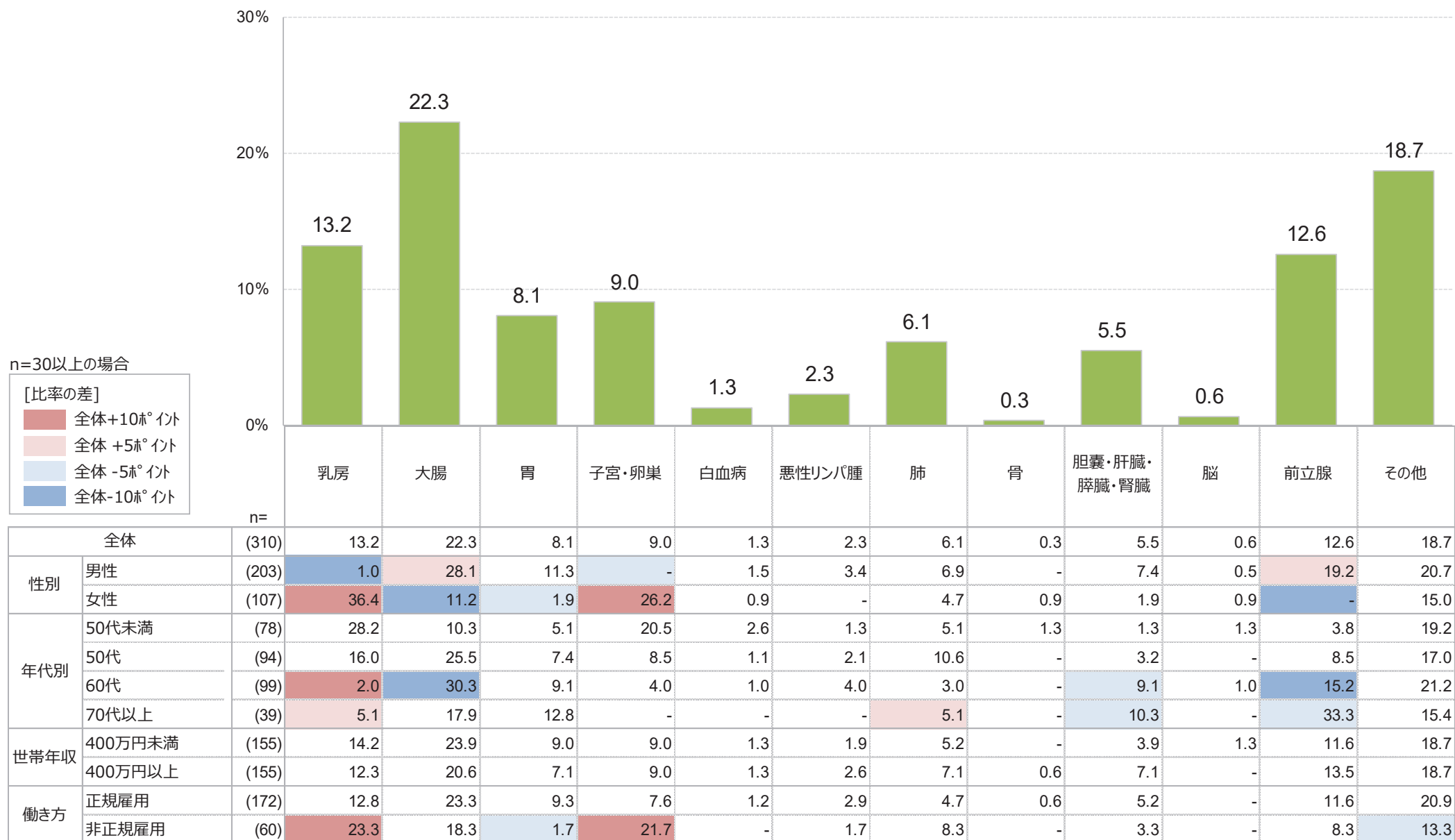


本調査結果

1 直近でがんと診断された部位

Q1 がんと診断された部位を教えてください。（最初に医師から何がと言われましたか？）

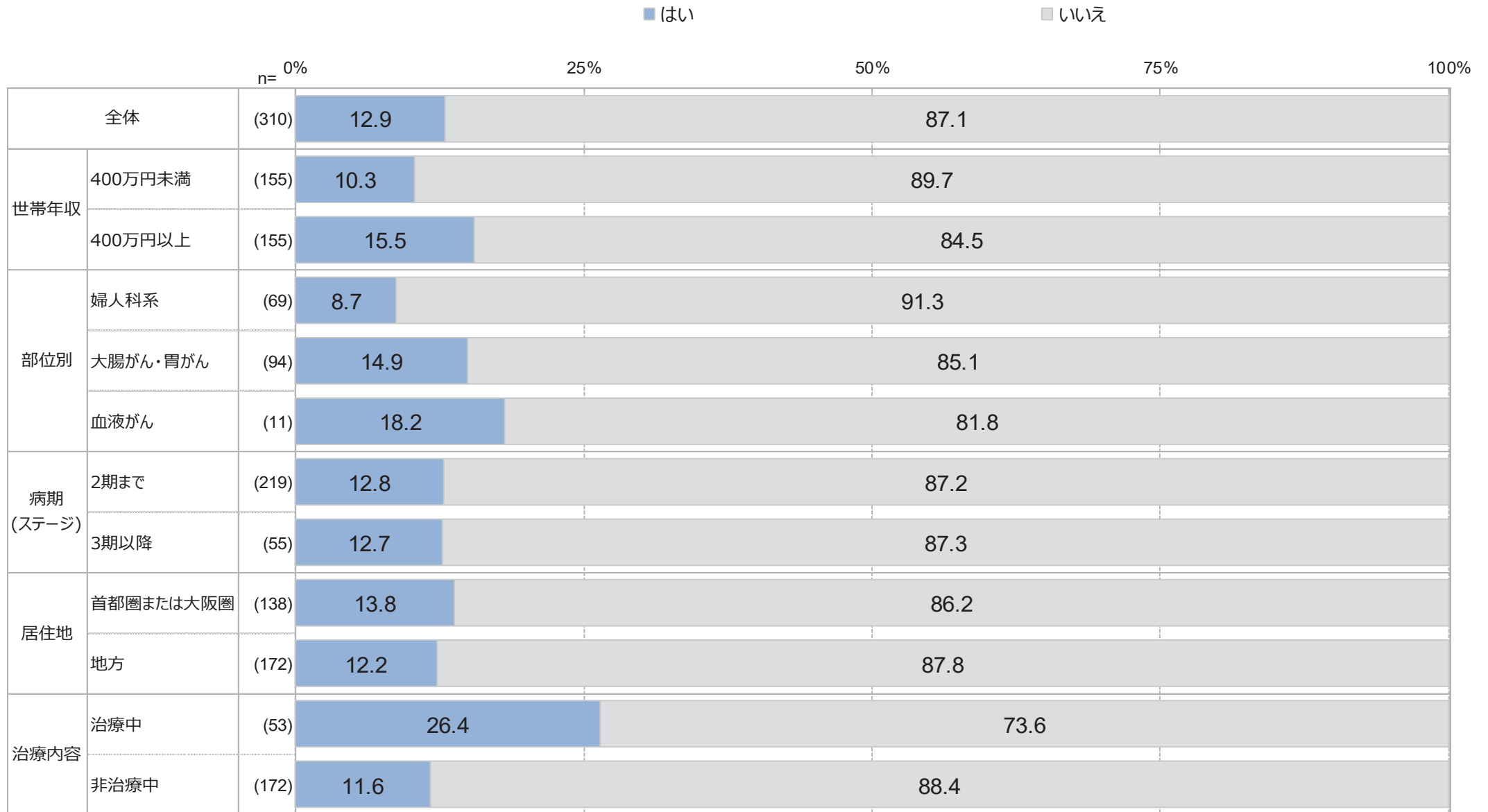
SA



5 新型コロナウイルス感染症拡大による治療内容やスケジュールの変更

Q5 新型コロナウイルス感染症の拡大により、治療内容やスケジュールに変更はありましたか？

SA



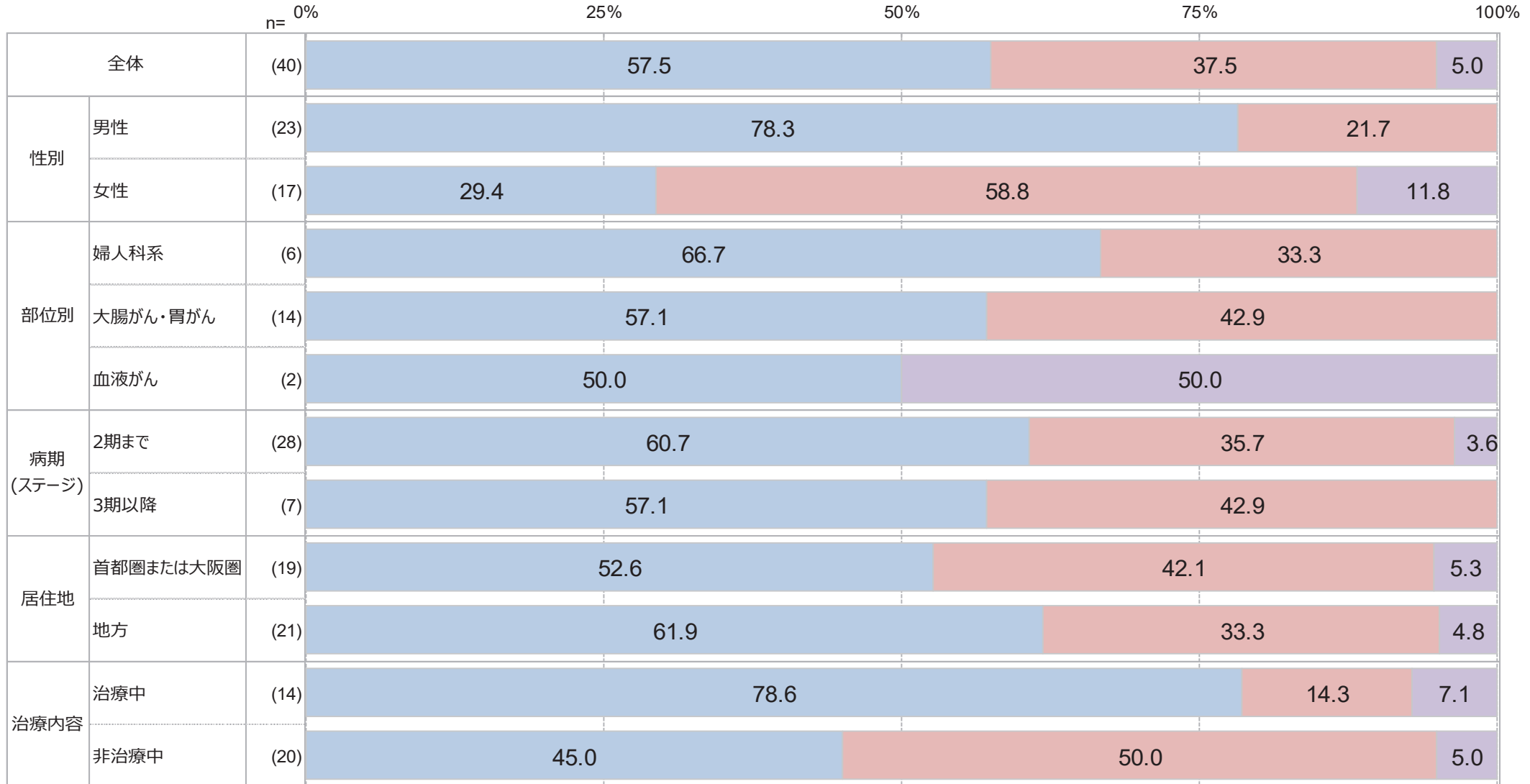
6 変更をした主判断者

Q6 変更があったと回答された方にお聞きます。その主たる判断は誰が行いましたか？

SA

※治療内容・スケジュール変更者ベース

■ 医療機関や主治医による判断、連絡 ■ 自分の判断 ■ 家族や友人からの助言 ■ 患者仲間からの助言 ■ その他



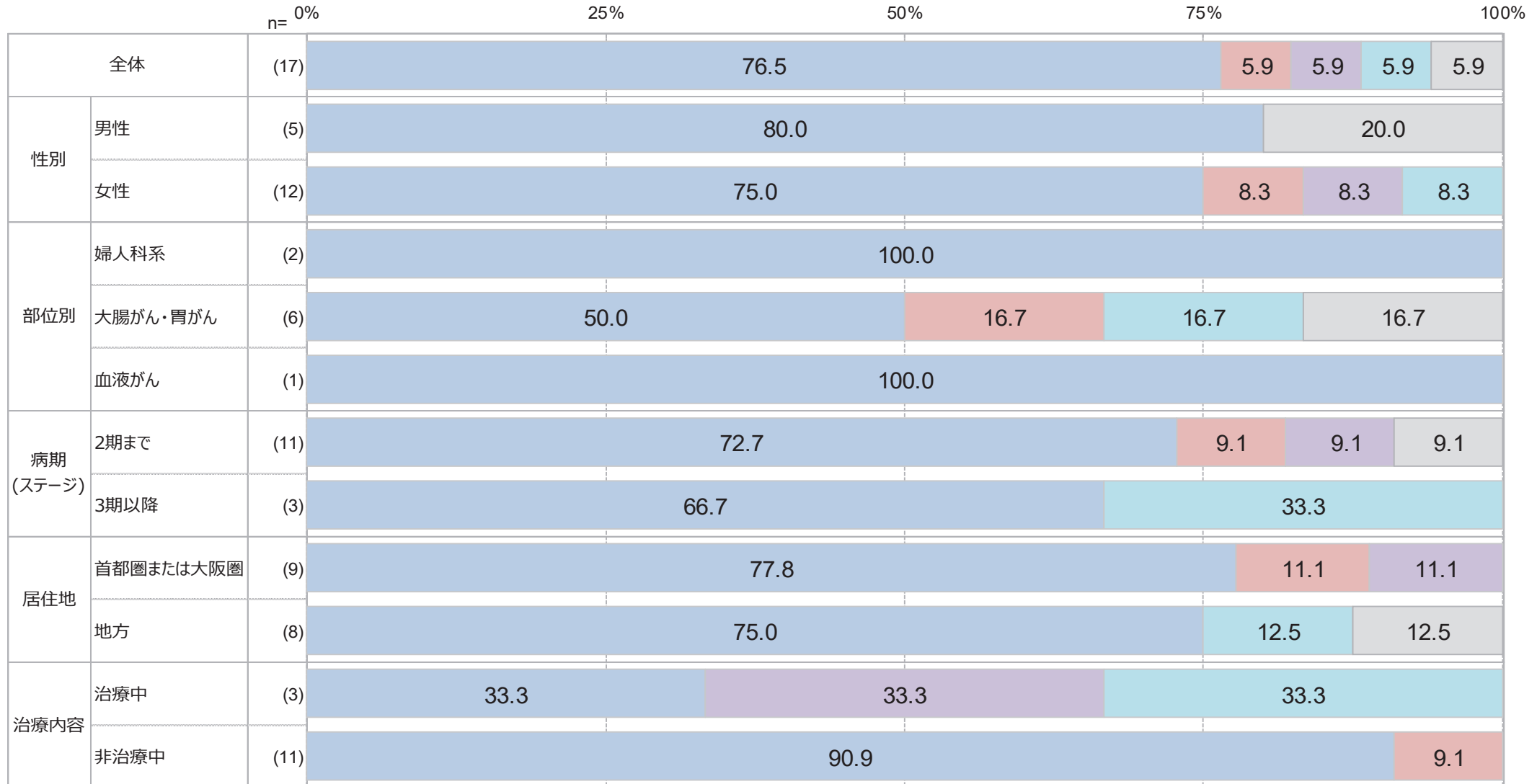
7 自分や周囲の意見で変更を判断した理由

Q7 自分や周囲の意見で変更を判断したと回答された方にお聞きます。その1番目の理由は何ですか？

SA

※医療機関・主治医以外で判断した人ベース

■ 院内感染への不安があったから ■ 通院途中の感染が不安だったから ■ 感染者との濃厚接触があったから ■ 自分が感染してしまったから ■ 経済的な理由から ■ その他

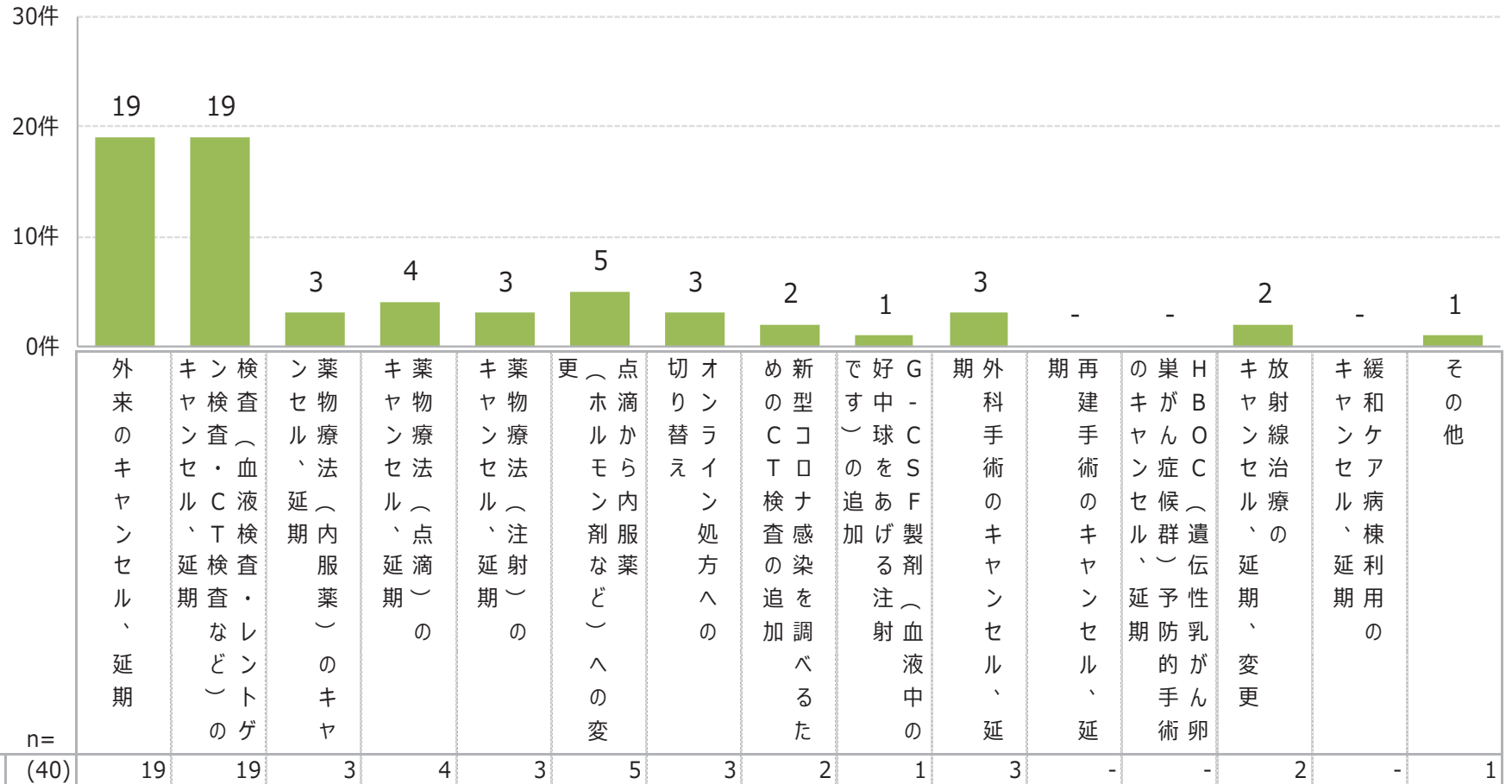


8-① 変更内容【全体】

Q8 変更があったと回答された方にお聞きます。どのような変更がありましたか？

MA

※治療内容・スケジュール変更者ベース

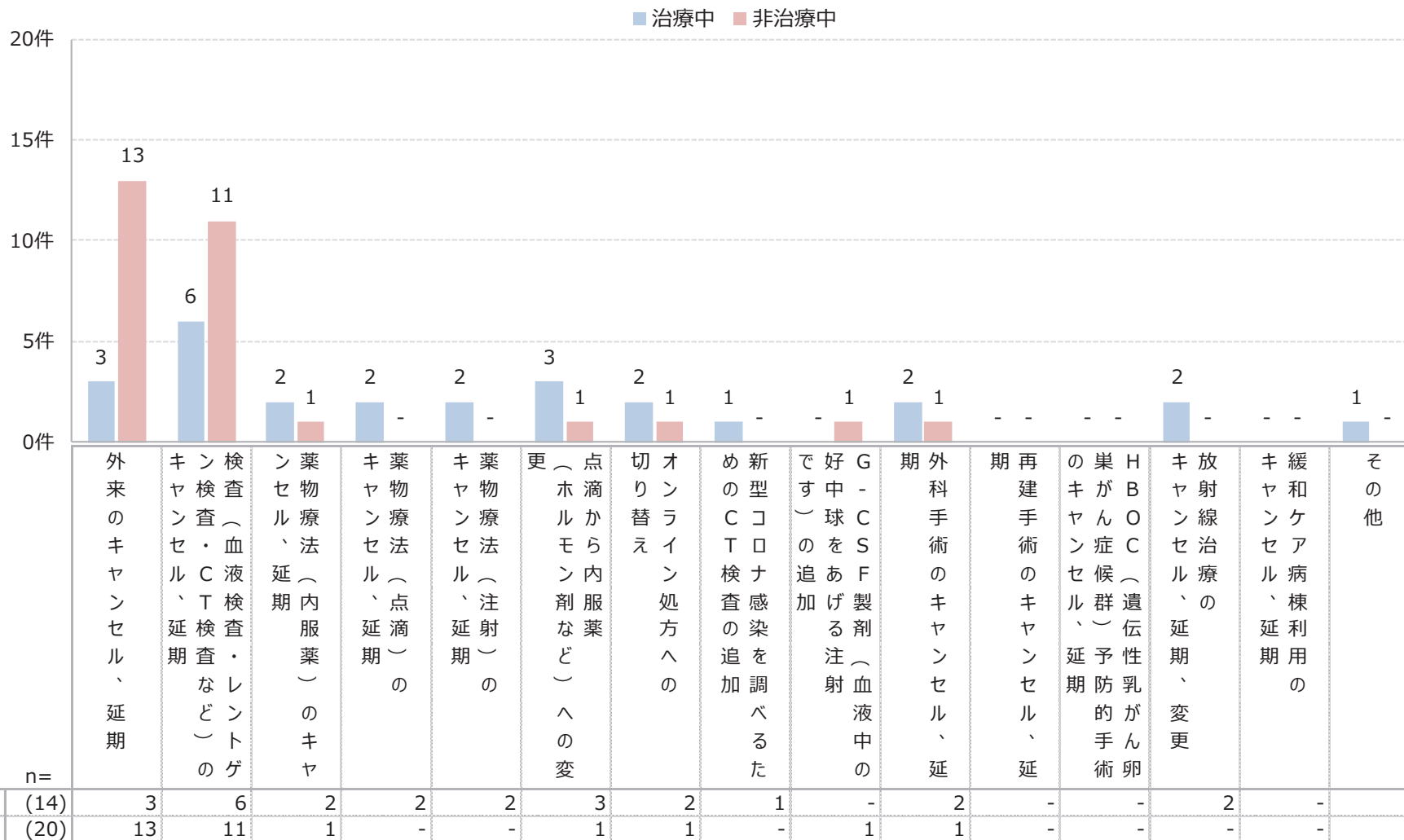


8-② 変更内容【治療内容】

Q8 変更があったと回答された方にお聞きます。どのような変更がありましたか？

MA

※治療内容・スケジュール変更者ベース

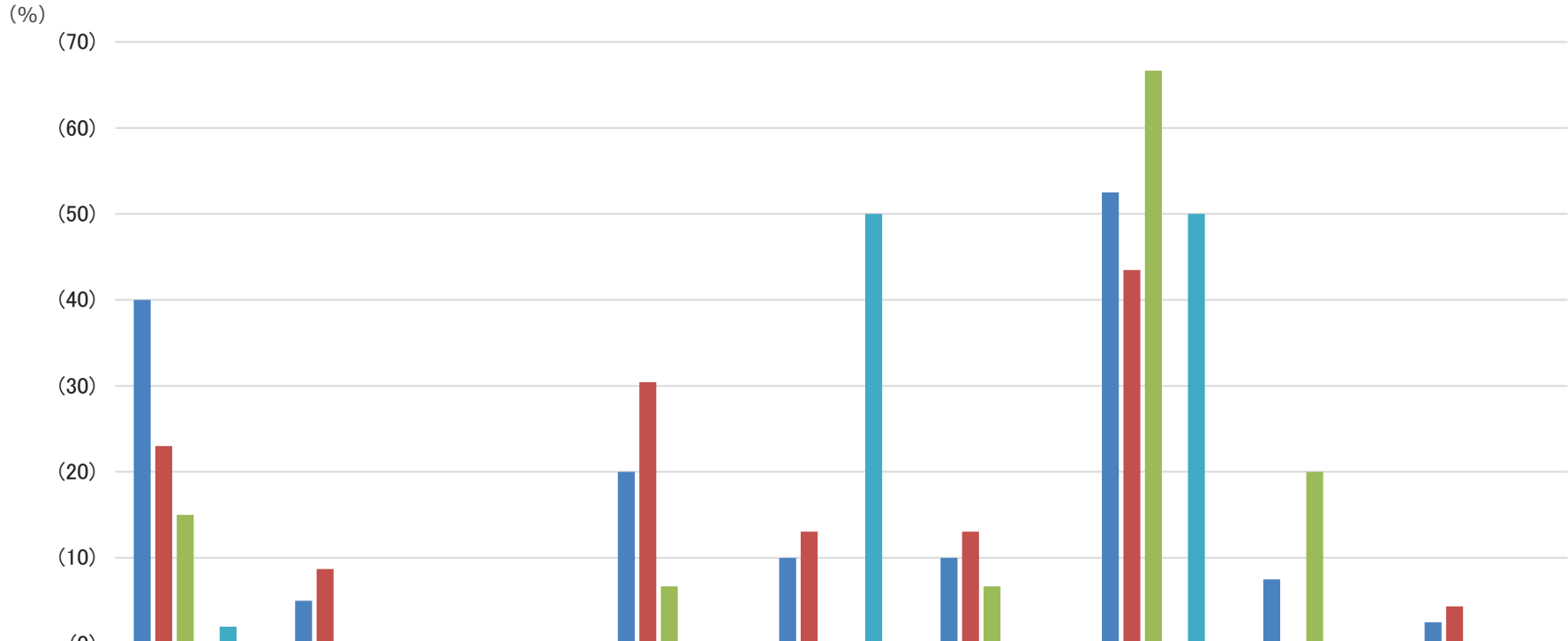


8-③ 変更内容【治療内容】%表示

Q8 変更があったと回答された方にお聞きます。どのような変更がありましたか？

MA

※治療内容・スケジュール変更者ベース



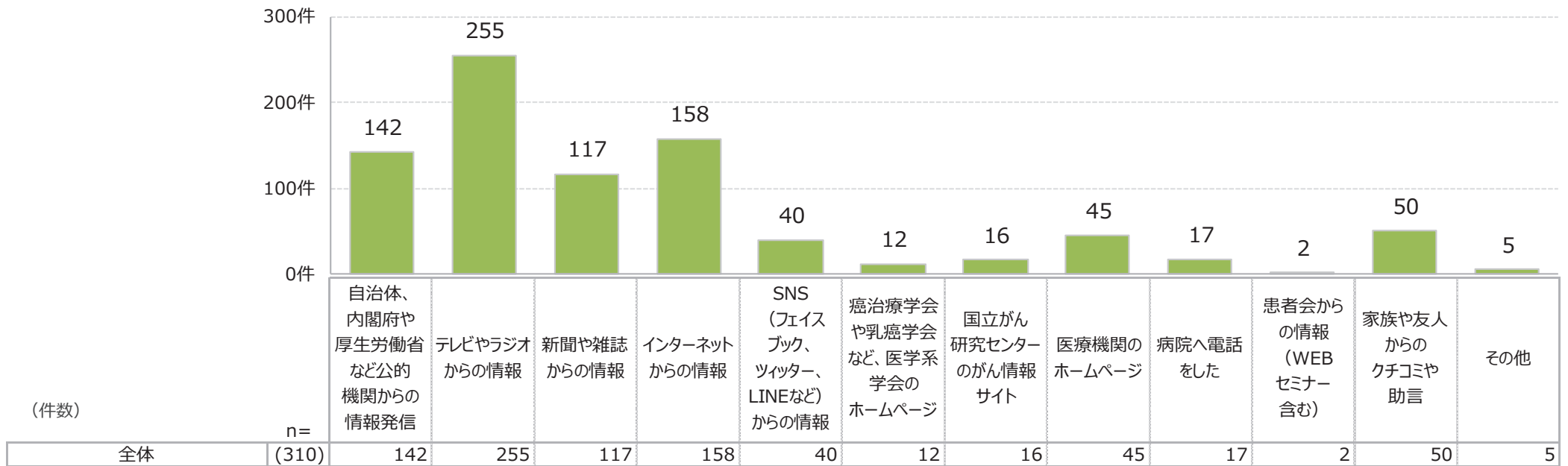
	全体	手術に向けた検査中	入院中	抗がん剤治療中	放射線治療のための通院中	ホルモン療法中	定期観察のための検査通院のみ	寛解を迎えた、特に治療は行っていない	その他
N=40 ■ 全体	(40)	5.0	0.0	20.0	10.0	10.0	52.5	7.5	2.5
N=23 ■ 医療機関や主治医による判断、連絡	(23)	8.7	0.0	30.4	13.0	13.0	43.5	0.0	4.3
N=15 ■ 自分の判断	(15)	0.0	0.0	6.7	0.0	6.7	66.7	20.0	0.0
N=0 ■ 家族や友人からの助言	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
N=2 ■ 患者仲間からの助言	(2)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
N=0 ■ その他	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■ 全体 ■ 医療機関や主治医による判断、連絡 ■ 自分の判断 ■ 家族や友人からの助言 ■ 患者仲間からの助言 ■ その他

9-① 新型コロナウイルス感染症拡大の予防対策についての情報源【全体】

Q9 新型コロナウイルス感染症の予防対策について、どこから情報を得ましたか？

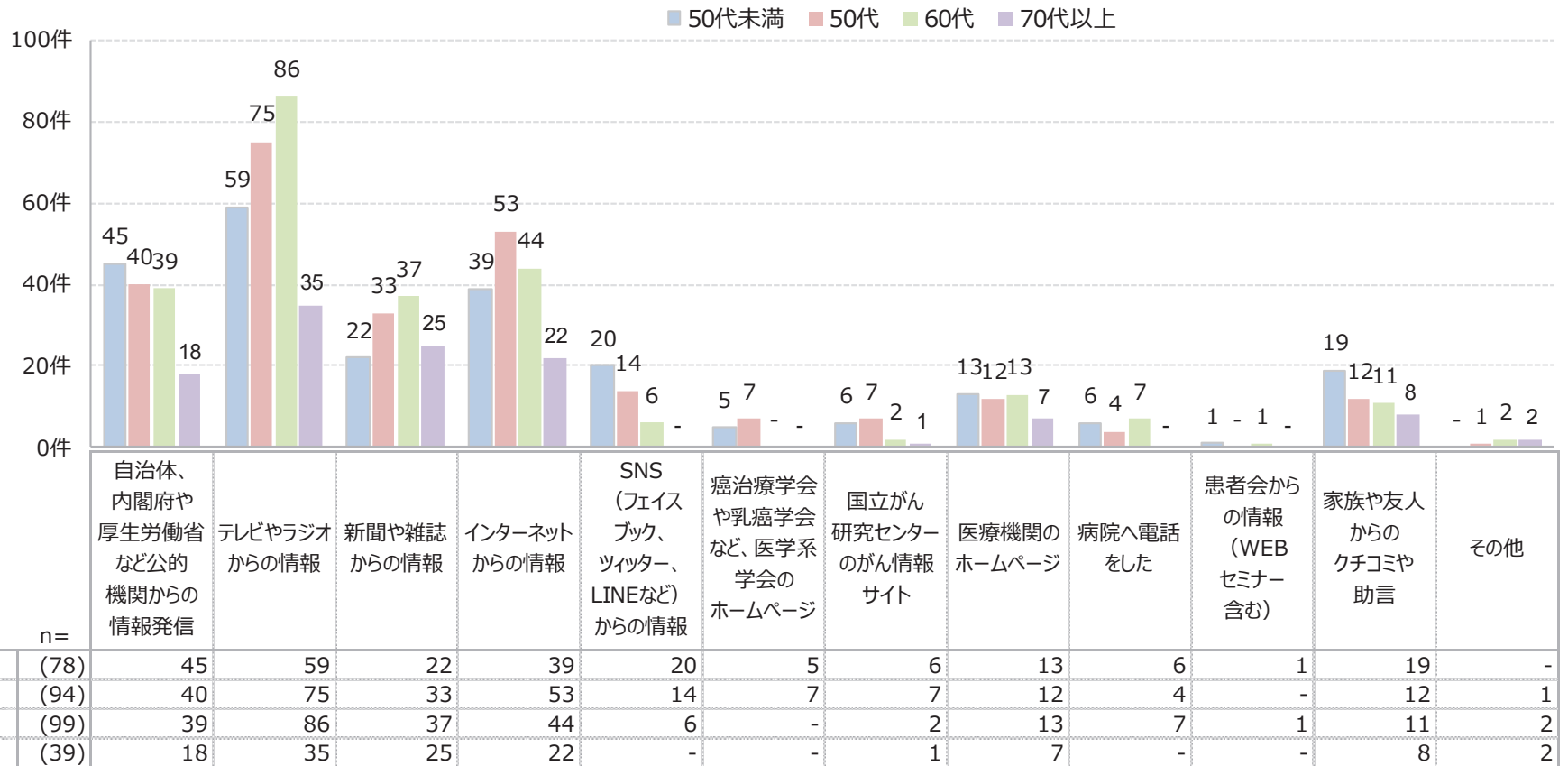
MA



9-② 新型コロナウイルス感染症拡大の予防対策についての情報源【年代別】

Q9 新型コロナウイルス感染症の予防対策について、どこから情報を得ましたか？

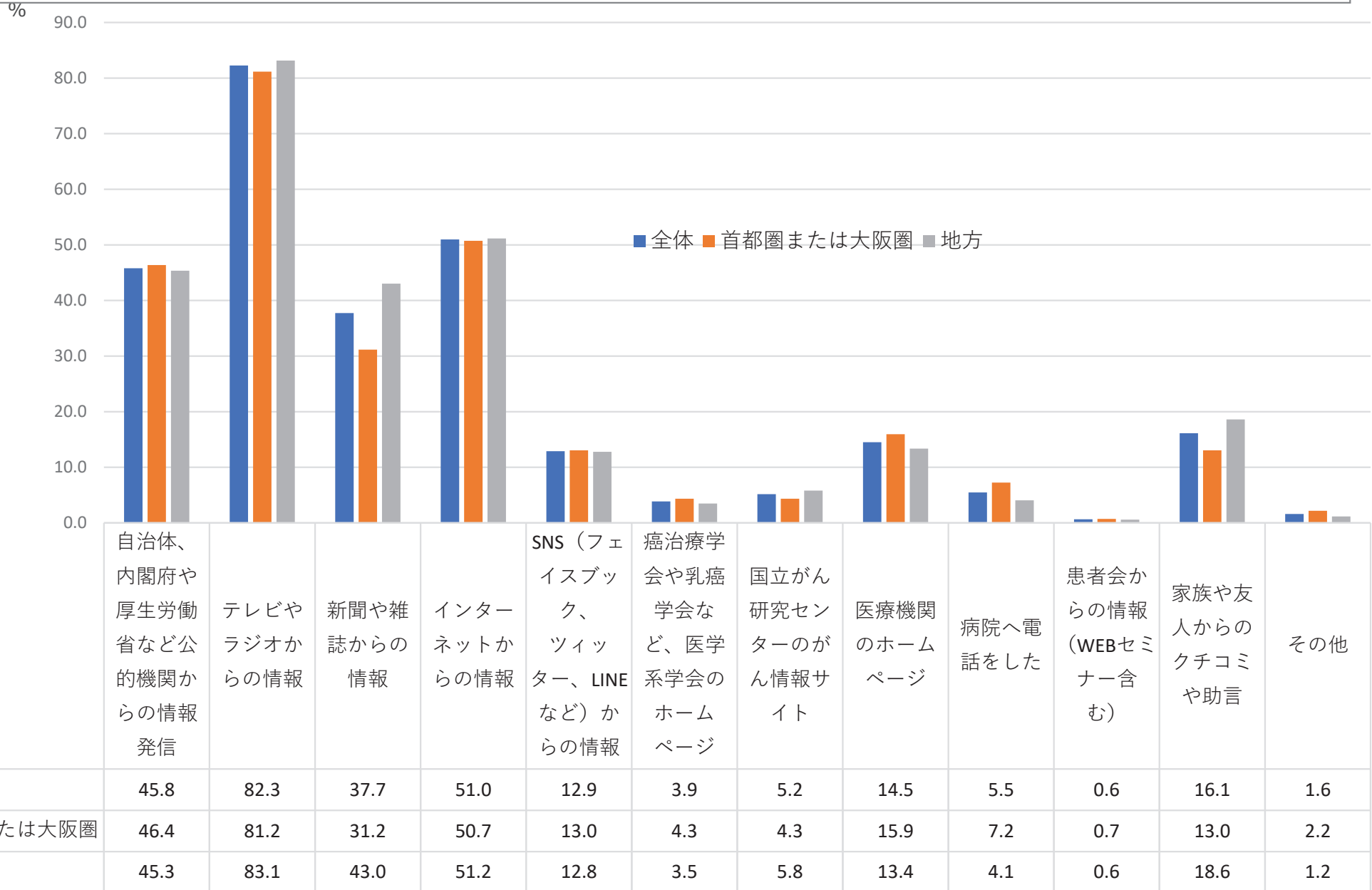
MA



9-③ 新型コロナウイルス感染症拡大の予防対策についての情報源【地域別】

Q9 新型コロナウイルス感染症の予防対策について、どこから情報を得ましたか？

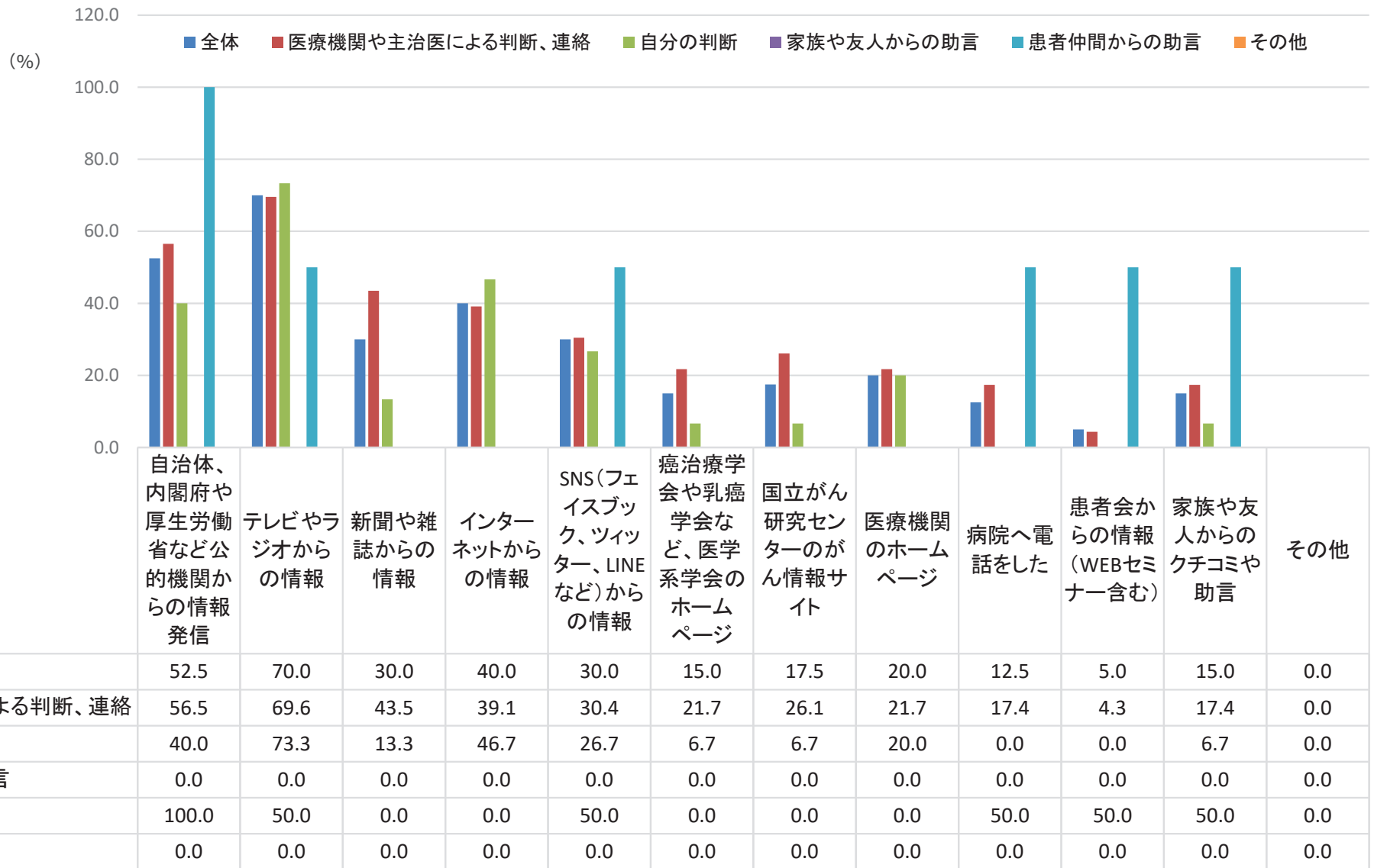
MA



9-④ 新型コロナウイルス感染症拡大の予防対策についての情報源【全体】%

Q9 新型コロナウイルス感染症の予防対策について、どこから情報を得ましたか？

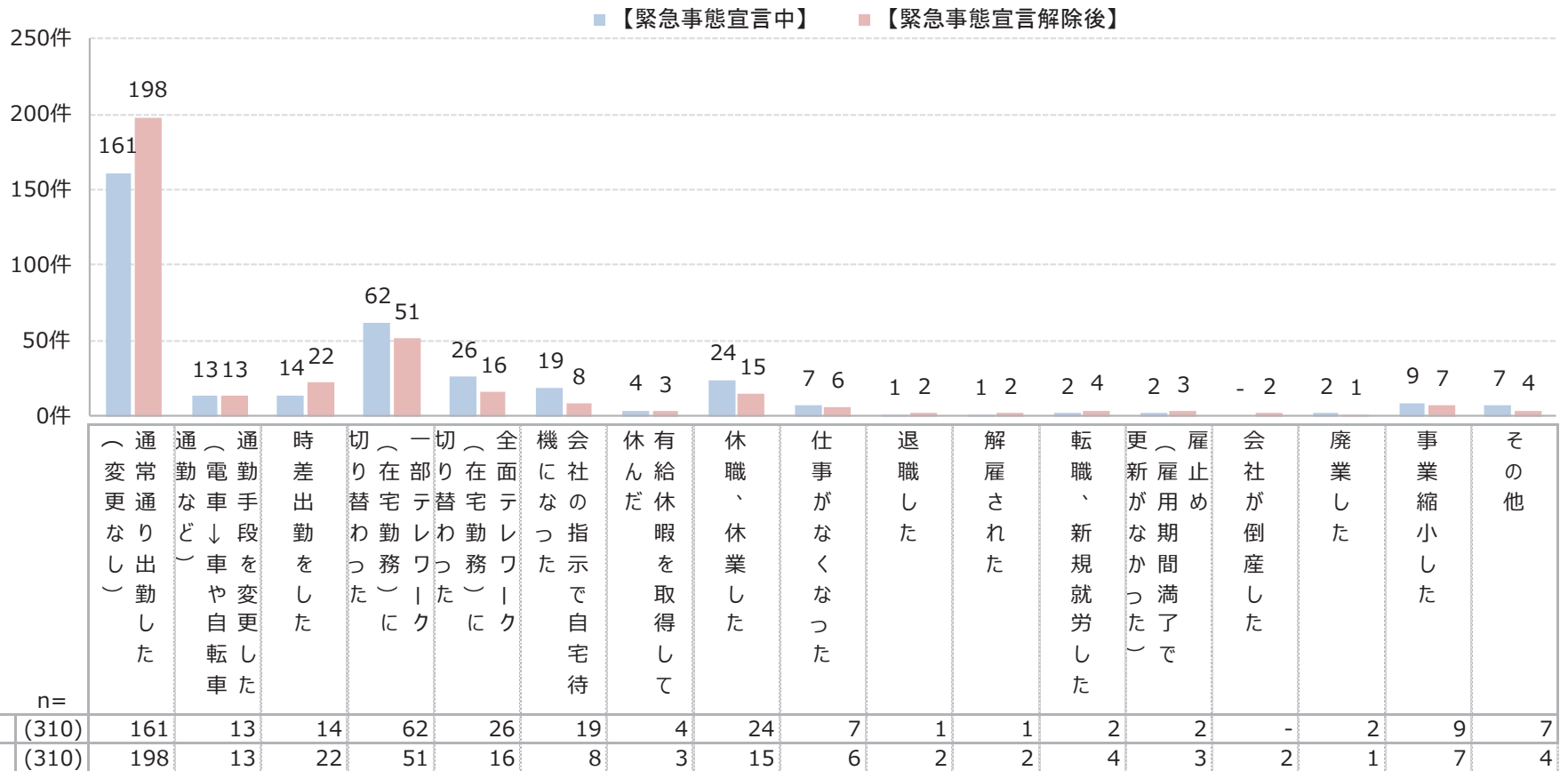
MA



10-① 緊急事態宣言中/解除後の働き方【全体】

Q10 お仕事をされている方にお聞きます。新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が出されている間（2020年4月7日～5月25日）、あなたの働き方はどうなりましたか？該当するものをお選びください。

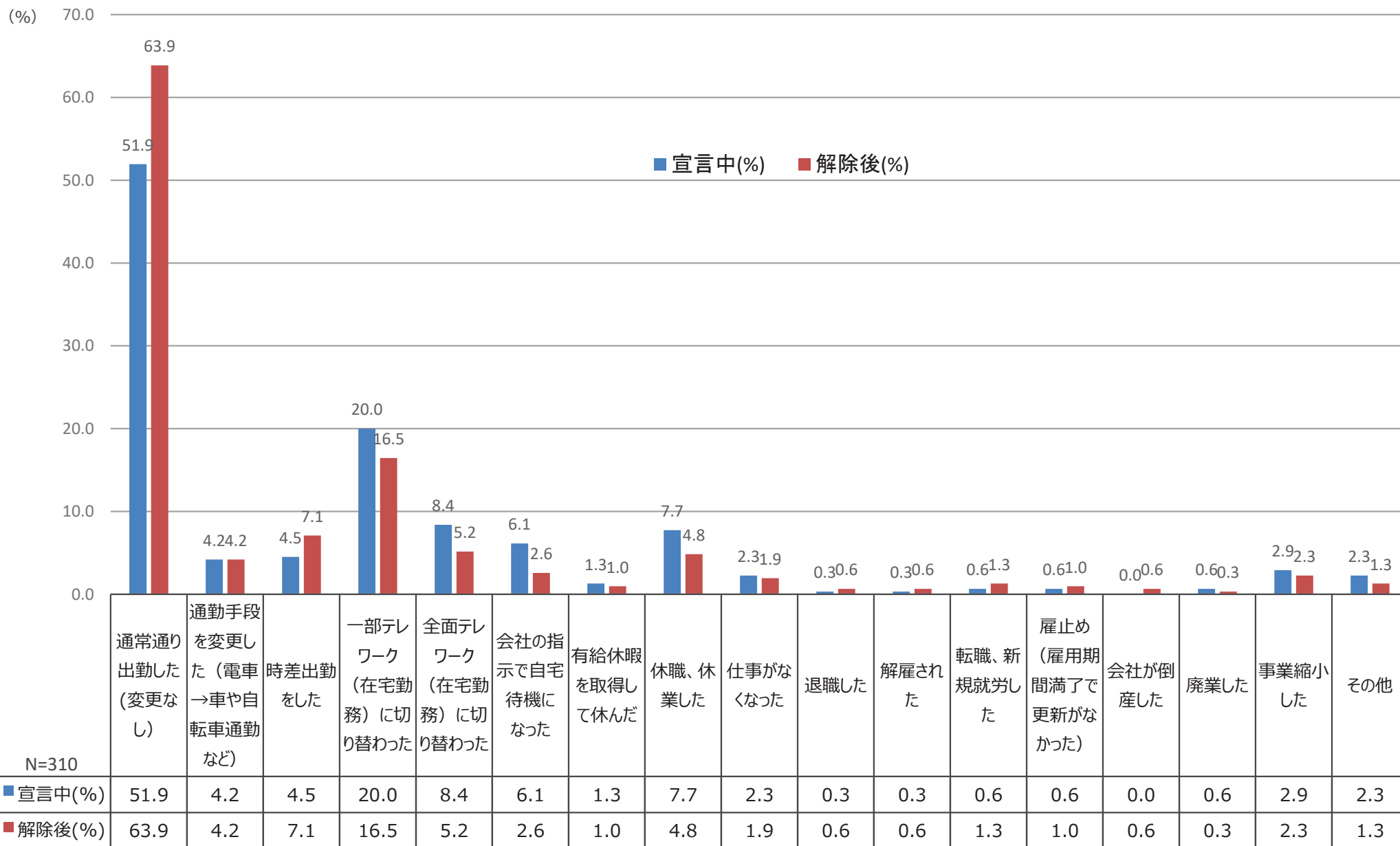
MA



10-② 緊急事態宣言中の働き方【働き方】 %比較

Q10 お仕事をされている方にお聞きます。新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が出されている間（2020年4月7日～5月25日）、あなたの働き方はどうなりましたか？該当するものをお選びください。

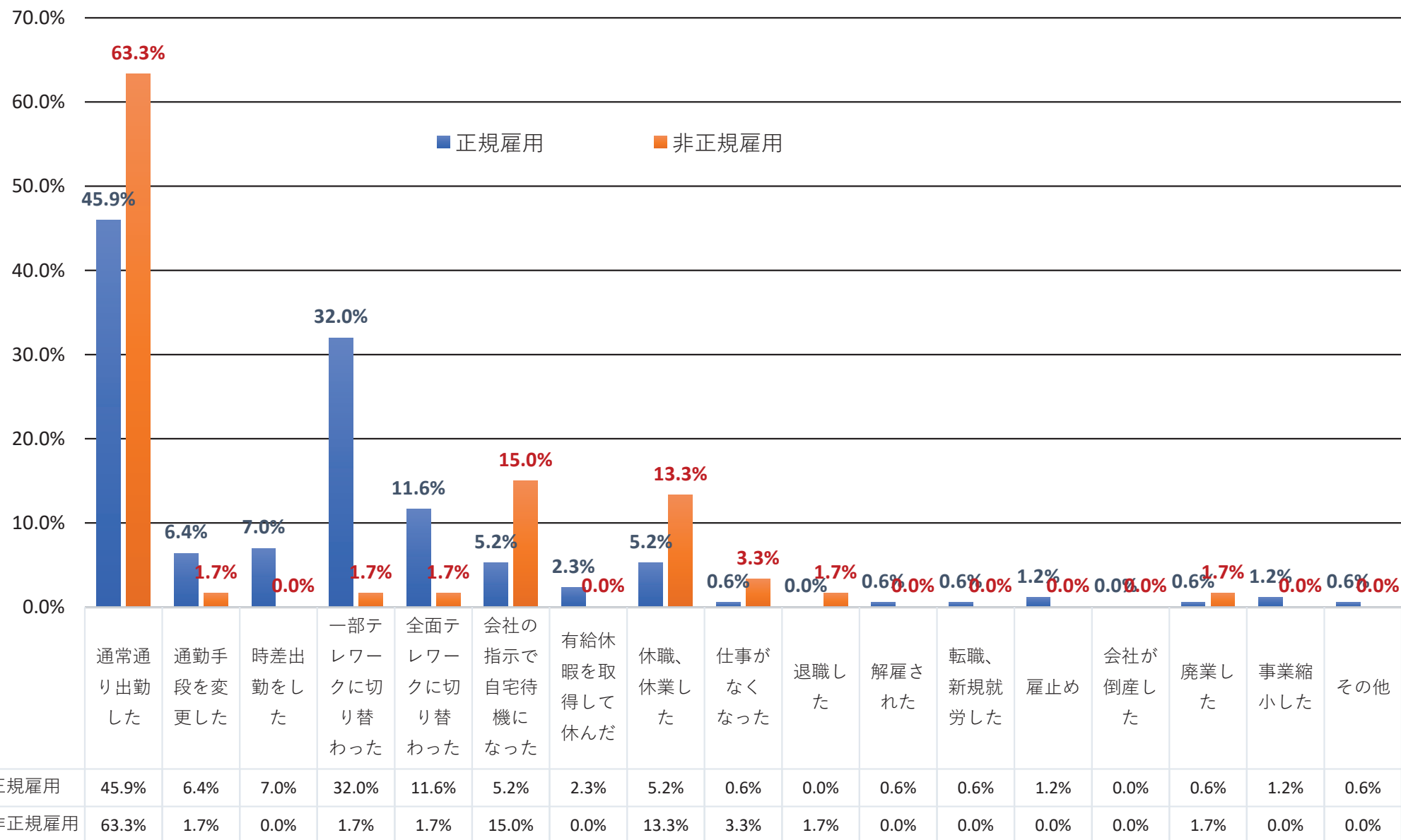
MA



10-③ 緊急事態宣言中の働き方【働き方】 %比較

Q10 お仕事をされている方にお聞きます。新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が出されている間（2020年4月7日～5月25日）、あなたの働き方はどうなりましたか？該当するものをお選びください。

MA



N=172

N=60

10-④ 緊急事態宣言解除前後の働き方の変化（正規雇用・非正規雇用）

Q10 お仕事をされている方にお聞きます。新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が出されている間（2020年4月7日～5月25日）、あなたの働き方はどうなりましたか？該当するものをお選びください。

MA



	通常通り出勤した(変更なし)	通勤手段を変更した(電車→車や自転車通勤など)	時差出勤をした	一部テレワーク(在宅勤務)に切り替わった	全面テレワーク(在宅勤務)に切り替わった	会社の指示で自宅待機になった	有給休暇を取得して休んだ	休職、休業した	仕事がなくなった	退職した	解雇された	転職、新規就労した	雇止め(雇用期間満了で更新がなかった)	会社が倒産した	廃業した	事業縮小した	その他
正規雇用 (N=172)	45.9%	6.4%	7.0%	32.0%	11.6%	5.2%	2.3%	5.2%	0.6%	0.0%	0.6%	0.6%	1.2%	0.0%	0.6%	1.2%	0.6%
非正規雇用 (N=60)	63.3%	1.7%	0.0%	1.7%	1.7%	15.0%	0.0%	13.3%	3.3%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%
全体	51.9%	4.2%	4.5%	20.0%	8.4%	6.1%	1.3%	7.7%	2.3%	0.3%	0.3%	0.6%	0.6%	0.0%	0.6%	2.9%	2.3%
全体	63.9%	4.2%	7.1%	16.5%	5.2%	2.6%	1.0%	4.8%	1.9%	0.6%	0.6%	1.3%	1.0%	0.6%	0.3%	2.3%	1.3%
正規雇用	57.6%	5.8%	10.5%	24.4%	8.1%	3.5%	1.7%	4.7%	0.6%	0.6%	1.2%	1.7%	1.7%	1.2%	0.0%	1.2%	0.6%
非正規雇用	80.0%	3.3%	5.0%	1.7%	0.0%	3.3%	0.0%	5.0%	1.7%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%

10-⑤ 緊急事態宣言中の働き方（まとめ）

Q10 お仕事をされている方にお聞きます。新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が出されている間（2020年4月7日～5月25日）、あなたの働き方はどうなりましたか？該当するものをお選びください。

MA



		n=	161	13	14	62	26	19	4	24	7	1	1	2	2	-	2	9	7
全体		(310)	161	13	14	62	26	19	4	24	7	1	1	2	2	-	2	9	7
年代別	50代未満	(78)	36	8	5	19	8	9	2	7	2	-	1	1	1	-	1	1	-
	50代	(94)	50	2	3	19	10	4	1	6	2	1	-	1	-	-	1	1	1
	60代	(99)	56	3	3	17	5	3	1	9	-	-	-	-	1	-	-	4	3
	70代以上	(39)	19	-	3	7	3	3	-	2	3	-	-	-	-	-	-	3	3
働き方	正規雇用	(172)	79	11	12	55	20	9	4	9	1	-	1	1	2	-	1	2	1
	非正規雇用	(60)	38	1	-	1	1	9	-	8	2	1	-	-	-	-	1	-	-
居住地	首都圏または大阪圏	(138)	60	5	10	39	18	10	2	12	3	-	-	1	-	-	1	3	1
	地方	(172)	101	8	4	23	8	9	2	12	4	1	1	1	2	-	1	6	6
治療内容	治療中	(53)	18	4	3	17	4	4	3	5	1	-	1	1	1	-	1	4	1
	非治療中	(172)	92	9	8	32	16	12	1	16	4	-	-	1	-	-	-	2	3

11 緊急事態宣言解除後の働き方

Q11 お仕事をされている方にお聞きます。新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が解除された後（2020年5月26日以降）のあなたの働き方はどうになりましたか？該当するものをお選びください。

MA



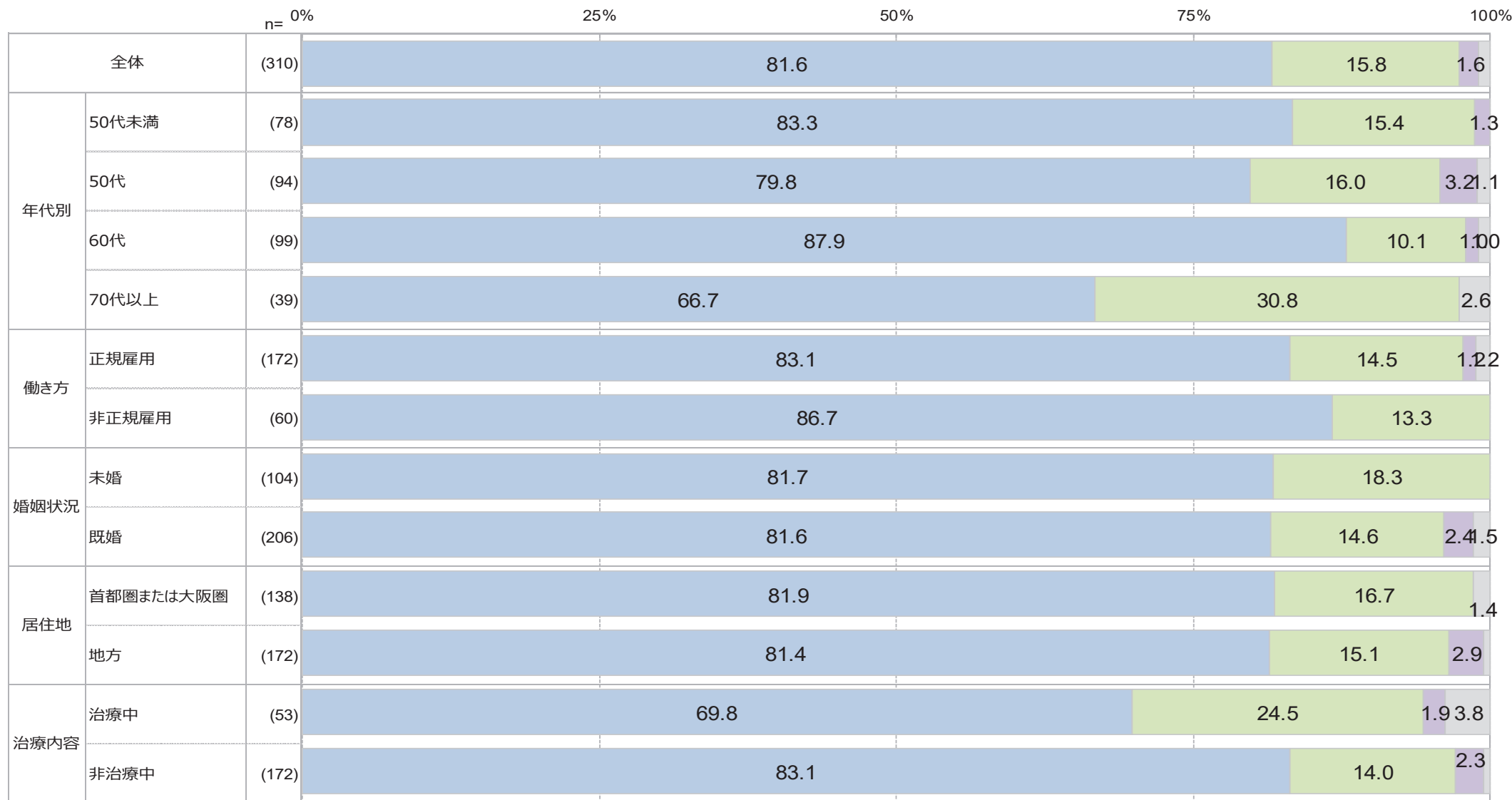
		n=	（変更なし）	通常通勤	（通勤など）	通勤手段の変更	（通勤車や自転車）	時差出勤	切り替わった	（在宅勤務）	（在宅勤務）	（在宅勤務）	（在宅勤務）	（在宅勤務）	（在宅勤務）	（在宅勤務）	（在宅勤務）	（在宅勤務）	（在宅勤務）
全体		(310)	198	13	22	51	16	8	3	15	6	2	2	4	3	2	1	7	4
年代別	50代未満	(78)	50	7	10	10	9	4	1	6	2	1	1	2	2	2	-	1	-
	50代	(94)	59	4	6	16	5	2	2	3	2	1	-	1	-	-	1	1	-
	60代	(99)	69	1	2	16	-	1	-	5	-	-	1	1	1	-	-	3	2
	70代以上	(39)	20	1	4	9	2	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	2	2
働き方	正規雇用	(172)	99	10	18	42	14	6	3	8	1	1	2	3	3	2	-	2	1
	非正規雇用	(60)	48	2	3	1	-	2	-	3	1	1	-	-	-	-	1	-	-
居住地	首都圏または大阪圏	(138)	73	5	14	37	9	5	2	8	1	1	2	2	1	1	-	2	2
	地方	(172)	125	8	8	14	7	3	1	7	5	1	-	2	2	1	1	5	2
治療内容	治療中	(53)	24	4	5	14	4	2	1	5	1	-	-	2	-	2	-	5	1
	非治療中	(172)	117	7	13	26	6	5	2	8	3	-	1	1	2	-	-	1	2

12 緊急事態宣言解除後の労働時間の変化

Q12 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が解除された後（2020年5月26日以降）のあなたの働く時間は、緊急事態宣言が出される前から増えましたか？減りましたか？

SA

■ 変わらない ■ 減った ■ 増えた ■ その他



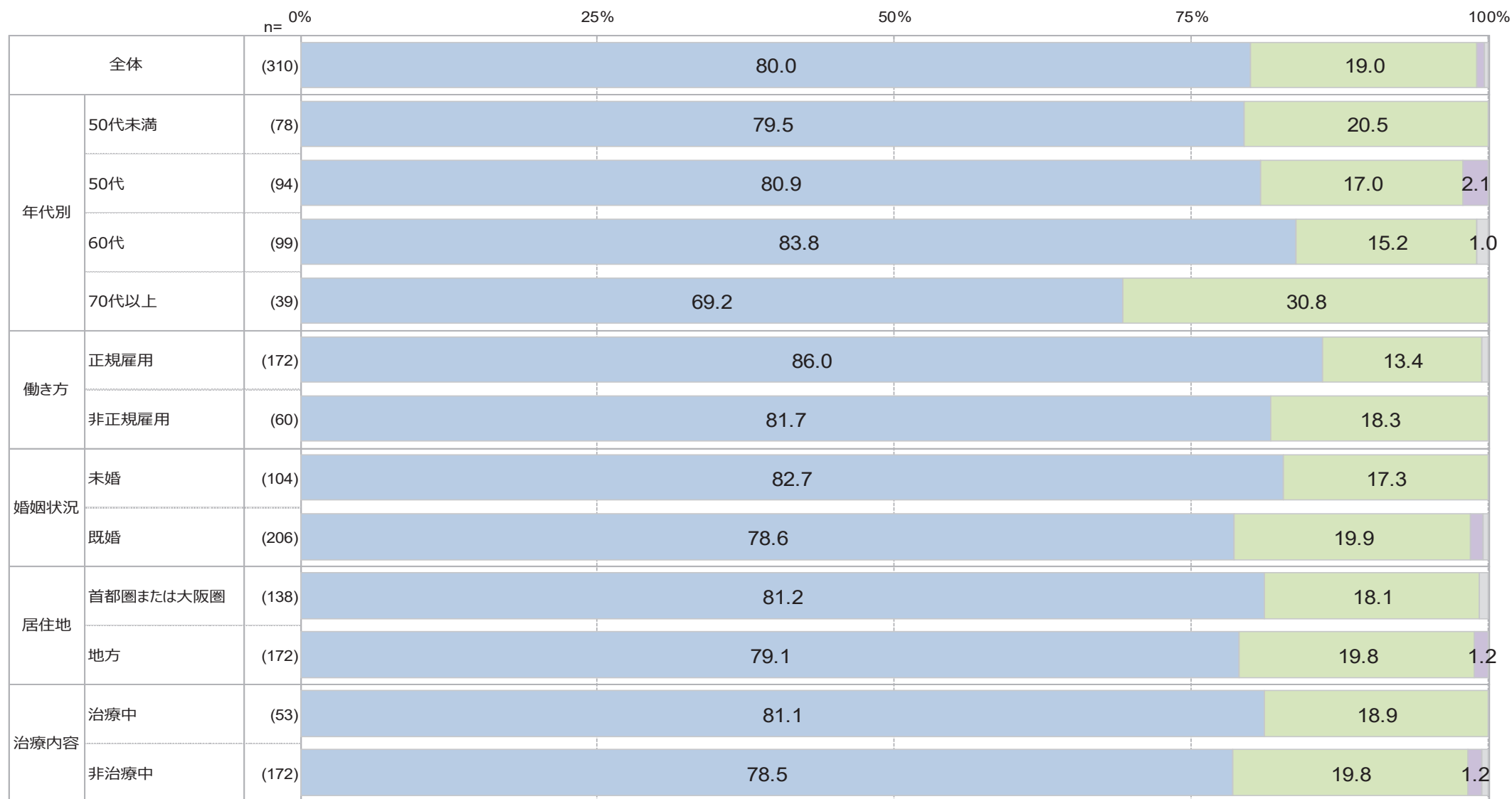
※1%未満のスコアは非表示

13 緊急事態宣言前後の月収の変化

Q13 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の前後で（2020年5月26日以降）、あなたの月収に変化はありましたか？

SA

■ 変わらない ■ 減った ■ 増えた ■ その他



※1%未満のスコアは非表示

12-13 緊急事態宣言前後の月収・就労時間の変化

(%)

		全体	自営業	経営者・役員	民間企業の従業員	公務員	パート・派遣社員・アルバイト	専業主婦・主夫	学生	無職	その他
Q12 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が解除された後（2020年5月26日以降のあなたの働く時間は、緊急事態宣言が出される前から増えましたか？減りましたか？ ※緊急事態宣言が出される前を「100%」としてお答えください。	変わらない	(253)	16.2	7.1	39.1	5.5	26.5	0.0	0.0	0.0	5.5
	減った	(49)	24.5	4.1	34.7	0.0	26.5	0.0	0.0	0.0	10.2
	増えた	(5)	0.0	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	その他	(3)	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
Q13 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の前後で（2020年5月26日以降）、あなたの月収に変化はありましたか？ ※緊急事態宣言が出される前を「100%」としてお答えください。	変わらない	(248)	13.3	7.7	41.1	5.6	26.6	0.0	0.0	0.0	5.6
	減った	(59)	33.9	1.7	28.8	0.0	23.7	0.0	0.0	0.0	11.9
	増えた	(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	(1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

14 緊急事態宣言中の不安度

Q14 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が出ている間（2020年4月7日～5月25日）、あなたは、どのぐらいストレスを感じましたか。

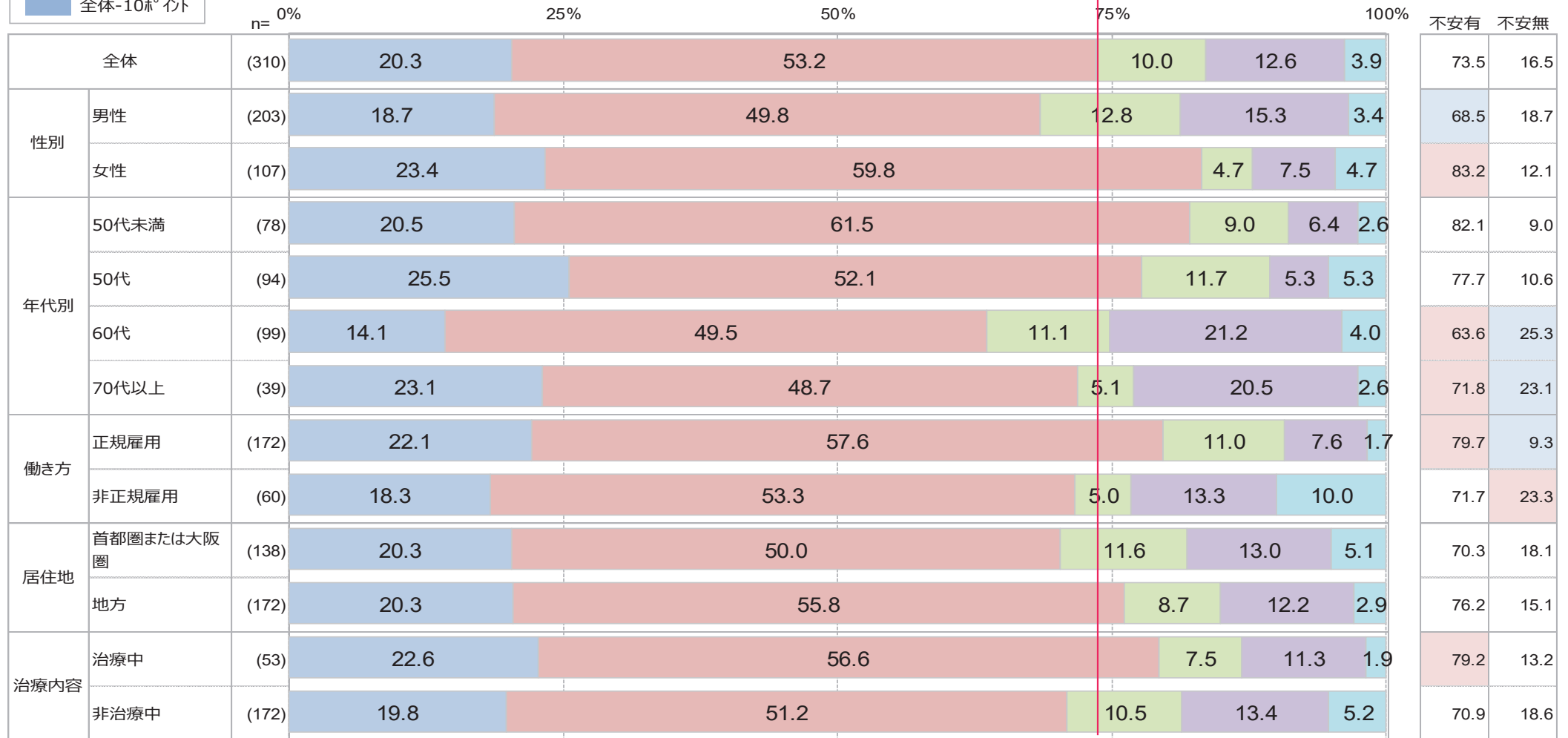
SA

n=30以上の場合

[比率の差]

- 全体+10ポイント
- 全体+5ポイント
- 全体-5ポイント
- 全体-10ポイント

■ とても強く感じた ■ やや感じた ■ どちらでもない ■ あまり感じない ■ 全く感じない



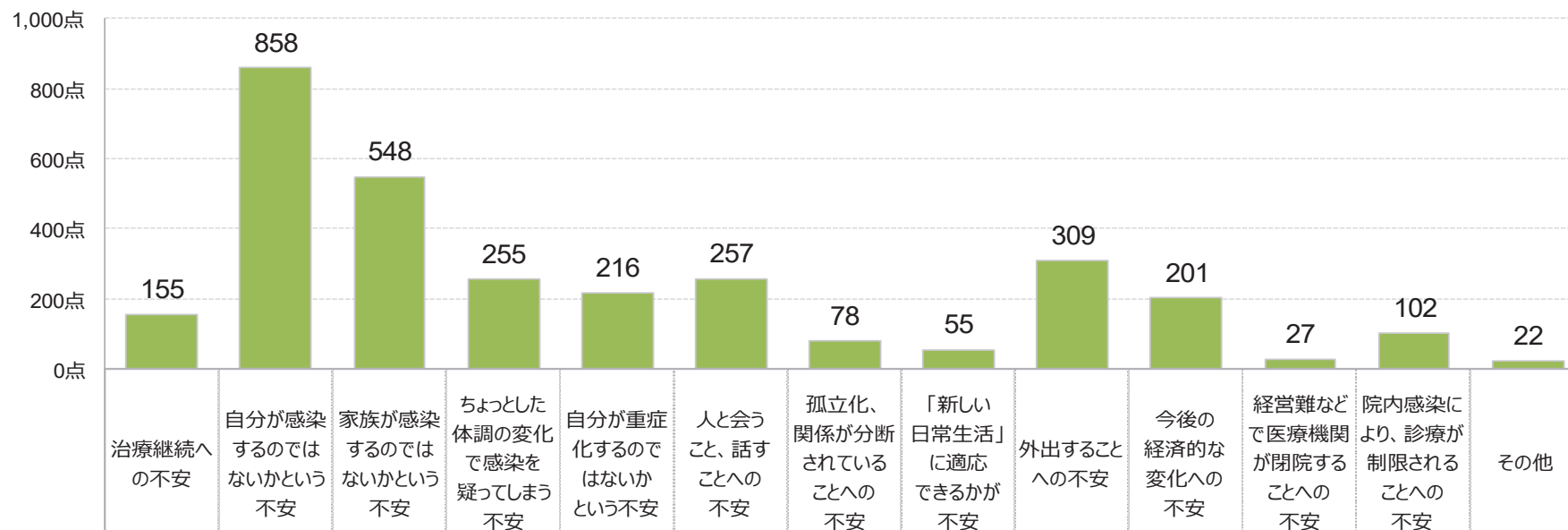
※不安有（「とても強く感じた」+「やや感じた」） ※不安無（「あまり感じない」+「全く感じない」）

15 不安に感じたこと

Q15 ストレスを感じたと回答した方にお聞きます。どのような不安やストレスを感じましたか？ 上位から5つまでお選びください。

RANK

※ストレスを感じた人ベース



		n=	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
全体		(228)	155	858	548	255	216	257	78	55	309	201	27	102	22		
性別	男性	(139)	95	517	325	153	125	178	41	38	194	128	19	62	9		
	女性	(89)	60	341	223	102	91	79	37	17	115	73	8	40	13		
年代別	50代未満	(64)	43	244	152	72	78	52	24	19	83	55	9	22	-		
	50代	(73)	69	257	157	88	79	63	32	14	92	71	10	41	6		
	60代	(63)	33	250	160	74	41	94	13	17	82	53	8	26	16		
	70代以上	(28)	10	107	79	21	18	48	9	5	52	22	-	13	-		
働き方	正規雇用	(137)	130	517	333	143	127	123	44	48	184	103	15	61	19		
	非正規雇用	(43)	15	165	111	66	38	49	17	6	61	38	2	25	-		
居住地	首都圏または大阪圏	(97)	97	347	226	107	95	111	34	32	116	81	7	49	8		
	地方	(131)	58	511	322	148	121	146	44	23	193	120	20	53	14		
治療内容	治療中	(42)	48	174	98	27	73	39	7	10	42	37	7	12	-		
	非治療中	(122)	62	471	318	136	98	130	35	23	177	114	12	66	-		

※スコアは右記で算出：1位（5点）/2位（4点）/3位（3点）/4位（2点）/5位（1点）



© Corporate Social Responsibility for Cancer Survivors Recruiting